



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
伊藤 清一

平成から令和へと改元され、人々は希望を持って新年号を迎えた様に思います。

会員の皆様方にはお変わりなく、ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、伝統ある母校高田学園樹心同窓会の会長を務めさせて頂く事



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

本年の四月末日を以て平成が終わり、五月一日から新しい元号令和がスタートしました。同窓の皆様には益々健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成の時代に私の記憶に強く残る出来事をあげてみたいと思います。国際社会では、ベルリンの壁の崩壊、東欧の民主化に続いてソ連が消滅するという、私のように一九六〇年代に学生生活を送った者にとっては信じられないようなことが目の前

となりました。中学、昭和二十五年、高校、二十八年卒業の伊藤清一でございます。

前会長、佐脇功様は、十五年の永きにわたり会長を務められ、その間同窓会最大の懸案事項でありました同窓会財政の件に関し、学苑長先生の御協力を頂き、同窓会財政安定の礎を築かれました。又、それと共にクラブ活動において全国大会及びそれに準ずる大会出場選手又はクラブに対し、激励金を交付し、各方面において優秀な成績を取めた個人、団体に對するお祝い金贈呈等の制度を

で次々と起こりました。変わるはずがないと思ひこんでいることでも、その時がくれば変わる。その意味では現在の中国も例外ではないと思うのですが。

国内では、昭和の時代のいわゆる五十五年体制という自民党単独政権が終わり、紆余曲折を経て自由民主党と社会党による自連立政権が誕生しました。これも昭和の時代にはおよそ考えも及ばなかった出来事でした。その後は民主党政権が誕生したこともありましたが短い期間で政権を失い、民主党そのものも消滅して再び自民党一強となつて今日に至ります。政治の運営に緊張感をもたらした健全な民主政治を実現するためにも、国民が信頼できる野党が形成される必要だと感じています。

確立され、同窓会としてのあるべき道を示されました。その様々の業績に對し、心より感謝と敬意を表したいと思ひます。偉大な先輩の後を受けた微力ではございますが、樹心同窓会の名に恥じない様、努力したいと存じます。何卒会員の皆様の御指導と御協力を心よりお願い申し上げます。

本年は統一地方選挙の年であり、同窓生の前業泰幸津市長が見事無投票当選されました。八年間の実績と津市の発展に貢献された功績が高く評価された結果であります。又、県議会議員選挙では、津選挙区において船橋裕幸県議が見事上位で七回目の当選をされました。県議会議長も務められ、最多当選回数も務めました。御二人に心よりおめでとうございませうと申し上げると共に、今後益々の御活躍を期待いたします。四月十九日、中学、高校用の第三

選挙権年齢が十八才に引き下げられ、高校三年生の多くが投票できることになりました。従つて学校現場においてもこれまで以上に主権者教育に取り組みなければなりません。民主政治において選挙は主権者の意思が発揮される最大の機会です。「イギリス人は選挙のときだけ主権者でそれが終わると奴隷に等しい」とルソーは言っています。現在の私たちにたいする警句としても受け止められるべき言葉だと思ひます。

短大では三号館、音楽棟、図書館棟を竣工、学生駐車所を完成、体育館改築竣工、一号館改築竣工等があげられます。

体育館と附帯するクラブハウスの竣工が行われました。唯々、見事と言う体育館はクラブハウスです。体育館の設備は申すまでもありませんが、床面積二〇〇〇㎡の広さをほこり、一部二階建の鉄筋コンクリート造りで武道場、新体操、各種室内競技用に設計され、広大な床面積は申すまでもありませんが、天井の高さには目を見張るものがあります。まさに全ての室内競技向けに考え、設計された最高の殿堂と言えるものです。

当日体育館で、ブラスバンド部の演奏、バトン部のパフォーマンス、女子剣道部となぎなた部の異種武道試合、男子新体操部の演技がありよくぞこれまで！と母校の諸君のスポーツに對する尊い真剣さに心を打たれました。人間性の育成において、第一に教育環境の充実が考えられます。学ぶべき道を示す調和のとれた

中高では二号館、三号館、四号館、五号館、第二体育館を竣工し、西グラウンド、多目的グラウンドを次々と完成させました。そして今年四月には第三体育館を竣工しました。当初はサブアリーナとして計画しましたが、検討中に現場の要請に應える過程で規模が大きくなり、第三体育館として建設することになりました。その竣工式において新体操部、剣道部、なぎなた部、バトン部によるアトラクションが披露されましたが、そのときの生徒たちの笑顔と涙刺した演技を見るにつけ、大変嬉しく思ったとともに学苑の平成における施設設備の充実が、学生・生徒たちの学苑での学びと成長に大きく資するものとあらためて確信したところ

です。

威厳のある校舎と、校舎西側の広大なグラウンドと充実した諸設備、陸上サッカ―、馬術、野球、ハンドボール等々、数多くの選手が連日明るく青春のエネルギーを発散させている。正に次の世界を生む最高の場であります。

良き学舎があり、優秀な学ぶ人がいて、最高の指導者に恵まれ、良き人材を生む最高の学苑、それが母校、高田学苑であると強く感じました。改めて学苑長先生をはじめ、諸先生方の指導に心より感謝申し上げます。今年、明治一五〇年です。学苑の開学は明治五年と定められています。令和四年は、開学一五〇年を迎えます。本年の同窓会総会は八月四日(日曜日)十五時より津駅東口「ホテルグリーンパーク津」で開催されます。是非、お誘い会わせて多くの皆様に参加されます様お願い致します。

また近年のインターネット社会に對して短大、中高ともにパソコン機器を配置し学内のワイファイ環境を整備したうえで学生・生徒たちがそれらを駆使して講義や授業に取り組んでいるのも平成の大きな変化でありました。しかし、インターネットを教育現場で利用するについては課題も多くあり、急激に発展している領域でもあることから、今後ハードとソフトの両面でさらなる研鑽を必要とするものと考えています。

平成から令和に移り時代の要請の様々な変化に對していく中においても、短大では「やわらか心」、中高では「言行忠信・表裏相応」という校訓を旨として、学苑の建学の精神である仏教精神に基づく情操教育に努めてまいります。



ご挨拶と報告

中高校長
梅林 久高

同窓の皆様におかれましては健康でご活躍のこととお喜び申しあげます。日頃は本校の発展に物心ともに理解とご支援を賜っていることに深謝申しあげます。

この三月には卒業生592名(三年生404名、六年生188名)が、学業、クラブ活動に精励し、友情の輪を広げ、さらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。四月には新中学一年生193名、新高校一年生402名、四年生185名を迎え、在校生合わせて2387名、63クラス。そして、教職員221名でスタート。伸び伸びと洗刺と明るく元気に学校生活を満喫していると確信しています。少子化が加速化する中で、中学・高校とも、募集定員より



「令和」がスタートして

短大学長
栗原 廣海

本紙が出るころは、梅雨の真只中かと思いますが、樹心同窓会会員の皆さまにおかれましては、愈々御壮健のことと拝察申し上げます。

日頃より本学の教育に対し、ご理解ご支援を頂戴しておりますこと、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

多くの生徒が高田を選んで入学してくれました。中学では愛知県から14名の新入生を迎えることができ、本当に嬉しいことです。

本校の建学の精神である仏教、親鸞聖人のみ教えに導かれ、さらに国宝の本山の御影堂、如来堂を仰ぎ、緑に囲まれた自然豊かな境内を背景し、多感な時期を心豊かに育つてくれることと強く願っています。そして、校訓「言行忠信 表裏相応」が

日々の生活の中で実践されていくように教育を進めて行く覚悟です。

昨年の就職、進学状況、部活動などの詳細な内容や結果などは会報の記事をご高覧くださいれば幸いです。進路実績では、六年制は、功成名遂を保持しつつ、前年度より国公立の医学部への合格も増加しました。浪人生も頑張ってくれました。三年制は好評噴々であり、国立への合格目標に少し達成しませんでした。難関大学の合格に成果を上げてくれました。全体的に一人一人が良く自

己実現に向けて精進してくれました。三年生の数学担当で生徒を上手に伸ばす尾市先生が、昨年の六月に突然往生され、そのショックは計り知れませんでした。でも、子どもたちは先生の平素からの指導を忘れず、悲しみを越えて学業に精励して開花してくれました。多角的に進路指導を検証し、「伸ばす、深める、高める」ように育てていきたいと決意しています。

部活動では、同窓会より「全国出場クラブ激励金」を多くのクラブと生徒が頂戴し、さらに上位を目指ごとに燃えています。働き改革により私学の教育現場にもその軽減が求められておりますが、中高運動部、文化部の顧問は多忙な業務をこなしつつ休日もクラブ指導・引率、試合と活動し好成绩成果を上げてきています。部活動以外でも個人的に様々のことに挑戦し、その荣誉に輝いた多くの生徒の皆さんがいます。環境を整え何事にも挑戦させること

す。改元に伴う長い連休を経て(実際には授業数確保のため、二日間は授業を行いました)が、学生たちは順調に学修を重ねています。

この三月には、子ども学科、キャリア育成学科(オフィスワークコース・介護福祉コース)の学生二四〇名が、「短期大学士」の学位を取得して社会へと巣立っていききました。毎年ほぼ百パーセントの就職率を実現している本学ですが、本年も事情ある一名を除いて、他の全員が就職を果たしました。同窓生の皆さまが

活躍され、地域の信頼を得てくださっているおかげと、心より感謝申し上げます。

近年、公務員試験合格に力を入れている本学ですが、現役生では昨年の実績を超え、子ども学科から二十一名(昨年は二十名)が市町の教育・保育職に合格しました。オフィスワークコースからは行政職に二名合格しています。また、卒業生も十三名が教育・保育職に合格しました。一般企業では、百五銀行、三重銀行、第三銀行、北伊勢上野信用

により、自らを成長、開発させて行くこと、子どもの無限の可能性に教えられその活躍に感謝しています。教育的環境の充実として第三体育館が完成し、中高がローテーションを組み合わせる中。クラブ活動もより盛んになるでしょうし、子どもたちの心身の鍛錬、育成に大きく機能すると楽しみにしています。

次に教育現場において大学入試改革や学習要領の改訂が目前に迫っておりそれへの対応が喫緊の課題です。また、あらゆる分野でグローバル化やAIテクノロジー時代の到来が教育に刺激を与えつつ、その導入利用と教育改革が求められています。その課題の一つがICTの教育の推進であり、全館にプロジェクターの設置と、WiFiを設置しました。そして、高校三年生、六年以外はベネッセのクラッシュを導入採用し、入試改革や教育活動等に利用しています。また、全中学ではスマホを使用し、グーグルのGスイートを活用してい

金庫、井村屋グループはじめ、県内の優良企業に多く採用いただいています。手厚い、きめ細やかな学生支援が功を奏しているものと、喜んでるところです。

次に入学生についてですが、昨年度の募集活動は大変苦戦いたしました。子ども学科の入学定員百五十名のところ、入学者百二十四名で、二十六名の定員割れとなってしまうました。昨年の入学生は百六十名でしたから、三十六名の減少ということになります。キャリア育成学科は

ます。授業中にもスマホを活用します。指導を行っています。ICTの利用展開によって授業の効果や成果の検証は勿論必要ですし、その活用状況などを調査し、一つのツールとして役立てていきます。しかし、教育の原点はあくまでも「フェイストゥフェイス」だと思っていますので、時代に流されることなく、子供たちの心身を健全に育て、いかなる時も平気で生き抜いていく力を養成することが肝要です。その要は高田の教員であるとの誇りと自覚と情熱を持続し高い資質のスキルアップに励み、一致団結して生徒目線に立ち、子どもの心に寄り添って教育に当たることだと痛感しています。新鮮な雰囲気溢れる母校に一度、是非訪ねて頂ければ幸いです。お待ちしております。



定員百名のところ九十六名と、昨年より九名の増加です。子ども学科の入学減少の第一の原因は、保育者を目指す高校生の減少にあると考えられます。これは全国的な傾向ではあります。三重県では昨年、特にそれが顕著であったと考えられます。五年後には、高校卒業生の数は、今年より約二千人減少します。それに対応した策を講じつつ、募集活動により一層力を入れていかなければならないと考えています。さて、教育面において本年度より

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

●ありがとうございます●

(卒業年度順)

Table with 3 columns of names and graduation years. Includes names like 山口俊二, 佐脇功, 若菜政次, etc.

協 賛 企 業 一 覧

(五十音順)

Table with 2 columns of company names. Includes 愛知 (株), アインズ (株), 荒川制服 (株), etc.

改善した点をご報告いたします。昨年の本紙におきまして、「学校教育法施行規則」の一部が改正に伴って、大学や短期大学は、教育の内部質保証のために、三つの方針、つまり「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」「入学を受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を策定することが義務付けられたこと、本学は以前から策定し、それに基づく教育を実施していたけれども、より万全なものとするために、三つのポリシーを改訂中であるとお知らせしました。この作業がようやく成就し、今年度は、新しいポリシーに則った

教育を実施しているところです。主な改訂点は、「ディプロマ・ポリシー」において、「建学の精神」「教育の理念」の体得に対応した学修成果を明文化したこと、そして、学修成果を「学力の三要素」、つまり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」に基づいて記述した点です。前者については、「いのちの平等、尊厳性への気づき」と「生かされていることへの感謝」として、「共通到達目標（全学的学修成果）」の中に記述しています。本学のウェブページでご確認いただければ幸いです。また、「ディプロマ・ポリシー」の改訂に伴って、「共通教養科目」

の見直しを行いました。その一つは、一部の科目の科目名の変更です。本学の建学の精神の理解に資する仏教の授業は、学問としての学びを促す授業ではなく、自己を省察し、生き方を考える授業であることがよくわかるように、「仏教Ⅰ・Ⅱ」から「人生と仏教Ⅰ・Ⅱ」に、「環境」についても、学問としての専門的な学びではなく、私たちの生活を取り巻くさまざまな環境問題に目を向け、広く学んでほしいとの思いから、「環境学」を「暮らしと環境」に変更しました。次に、二つの科目の新設です。これまで理数系の科目がなかったことと、生活に密着した学

的リテラシーを身につけてほしいとの願いから「暮らしと数学」を、選挙権が十八歳に引き下げられたことにもなう主権者教育の必要性から、「暮らしと政治」を新設しました。「暮らしと環境」と新設の二つの科目は選択科目ですが、学生の皆さんは是非履修して、幅広い教養を身につけ、「ディプロマ・ポリシー」に記した学修成果獲得を目指して、日々努力してほしいと願っています。本学は、三月二十七日、鈴鹿市と「包括的連携協定」を締結しました。すでに平成二十八年八月に津市と、翌平成二十九年十一月には松阪市と同様の協定を締結していますから、自治体との連携協定の締結は三件目となります。内容は、主に保育・子

育て支援に関するものですが、今後ビジネスの分野や介護福祉の分野においても、連携を深め、更なる地域への貢献と、本学の教育力向上に資したいと考えています。記述のとおり、五年後には高校卒業生が約二十人減少し、今年の卒業生の八十八パーセントになります。学生募集は大変厳しい状況にはなりますが、建学の精神・教育の理念のもと、今後とも地域から真に愛される、有為な人材を育成すべく、精進を重ねる覚悟ですので、同窓生の皆さんも、どうぞご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

中・高等学校

- 一、菊間 康之
- 二、六高副担任
- 三、サッカー部
- 四、サッカー(シニアサッカー現役)・筋トレ
- 五、今年から高田学苑にお世話になることになりました。一応新人ですが、若くはありません(笑)。とは言え、毎週末には四〇代五〇代の若手(?)に交じって練習し、時々試合もこなしています。五階まで一段飛ばしで駆け上がりつても息は切れないし、その辺の若手教師に走力で負けることはないと思います。

もちろん、専門は英語です。前任校でトライしたアクティブ・ラーニングを早速取り入れていきます。私として当初は、授業中に生徒がガヤガヤと教えあうことには抵抗がありました。しかし、利点も多いことに気づきました。五年生の英作文の授業でも、グループごとに様々な解答が出て、それをお互いに評価しあうことで、単に学力という点以外でも、生徒の力がついている実感があります。

一、尾西 英

- 二、国語科、中学校一年生副担任
- 四、映画鑑賞、旅行、ダンス
- 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。かねてよりの夢であった教員として、馴染み深い、大好きな母校で勤務できる喜びを実感しております。

着任から一カ月が経ち、教員としての生活にも慣れて来たように思います。その日々の中で実感することは、私は在学中、なんと多くの先生方に支えていただいていたか、ということ。教員として関わる中で、先生方の生徒を想い、行動する様子を目の当たりにしたと同時に、私自身もこれほどまでに先生方に大切にされていたのだと感じました。

- 一、山口 友希
- 二、高校1年生(副担任)
- 三、柔道部
- 四、読書
- 五、本年度より高田中・高等学校でお世話になっております。担当教

科は国語で、部活動は柔道部です。母校である高田学苑で教鞭をとれるとは、学生時代夢にも思わなかったことであるだけに、現在恩師とともに生徒の教育に携わることができ、非常に光栄に思っております。着任から一か月半、日増しにその思いは強くなるとともに、次は自分が、先生方からいただいたご恩を生徒に贈る番であると、気を引き締めております。

国語という科目は、人間にとって必要不可欠な「言葉」を扱う科目です。言葉によって人はものごとを認識し、思考することができません。それはつまり、言葉を知らば知るほど、その人の世界は広がっていくということでもあります。まだまだ至らないところも多々ありますが、これから生きる生徒たちの世界が言葉によってさらに豊かになるよう、精進いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

一、村田 華

- 二、四年生副担任、社会科(世界史)
- 三、中学バスケットボール部顧問
- 四、野球観戦・ゴルフ(趣味にしていきたい)・寺社仏閣巡り
- 五、初めまして、この四月から高田学苑でお世話になっております。

この学校を卒業して数年、母校に戻ってくるのができて、大変嬉しく思います。これまでは、教育関係でない職に就いておりましたが、教員という仕事は学生時代からの夢の一つでした。今回、ご縁

があつてこちらで働けることになり、有難く感じています。着任して少し経ちますが、生徒の笑顔を見るのが毎日の楽しみです。今は社会科の中でも世界史の授業を担当させていただいております。

単純な知識としてはなくて、国際社会で生きていくための力を、授業を通して伝えたいと思っております。また、歴史を単なる過去として捉えるのではなく、未来へと繋げる意識を生徒たち感じてもらえたらと思います。まだまだ至らない点ばかりですが、これから生徒たちのために、自分の持つ力を最大限に発揮できるよう、精進してまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

一、黒瀬 大輝

- 二、高等部第一学年
- 三、中学バレー部
- 四、ボウリング、サッカー観戦
- 五、本年度より高田中・高等学校でお世話になっております。高等学校第一学年の数学を担当しており、部活動では中学バレー部の顧問をしております。

高校生の時から高田学苑で教員として働くことが夢でしたので、とても嬉しく思っています。現在担当している生徒や、昨年教育実習時に担当した生徒に、日々力をもらっています。日常生活や授業の中で、生徒が成長する姿を見ることができるよう教材研究や、授業改善等の努力をしたいと思います。

今年教育実習時に担当した生徒に、日々力をもらっています。日常生活や授業の中で、生徒が成長する姿を見ることができるよう教材研究や、授業改善等の努力をしたいと思います。

教員一年目で仕事を覚えることで精一杯ではありますが、先輩の先生方や同僚の先生方に支えて頂き何とか教員として仕事ができていると思います。

一日でも早く一人前の教師として仕事ができるよう成長していきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしく申し上げます。

一、松本 怜

- 二、理科(物理)、生徒指導部
- 四、テニス、お好み焼き作り
- 五、本年度より母校である高田学苑でお世話になっております。教員として再び戻ってくる機会をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝の気持ちを忘れず、今現在をスタート地点と考え、生徒たちの支えとなれる教師を目指して日々精進していきます。

まだ着任して日も浅いですが、周りの先生方が生徒と真摯に向き合うお姿に刺激を受け、自分自身もこんな教師になるにはどうしたらよいかと考えさせられる毎日です。この先、何度も問題に直面することがあると思いますが、その問題を成長のチャンスと捉え、一杯努めたいと思っておりますので今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

- 一、前田 望見
- 二、六年生副担任
- 四、睡眠と食事
- 五、本年度より、高田学苑でお世話になっております。教員一年目

ということ、日々の授業等で一杯になってしまっていますが、日々何事にも熱意や思いやりのある先生方に支えられ、誠心誠意努めさせていただいております。

また、担当教科である英語の授業のみならず、あらゆる場面で生徒と向き合い、ともに成長していきたいと思っております。

また、担当教科である英語の授業においては、生徒が予習復習を積極的にを行い、授業を受け、今日も学校に来て良かったと思えるような授業展開をしたいと考えております。それに加え、あらゆる場面で生徒と向き合い、ともに成長していきたいと思っております。

まだまだ至らぬ点多々あるかとは思いますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

一、川北 直人

二、高校Ⅱ年

三、陸上競技部

四、麵屋巡り

五、本年度より母校である高田学苑でお世話になっております。担当

教科は英語で、部活動は陸上競技部を担当しています。着任してから二ヶ月ほどが経ち、少しずつではありますが慣れつつもまだ不慣れな点多々あります。それでも

少しずつ慣れていくことができるのも先生方と何より温かい生徒たちのおかげであります。個性溢れる生徒たちを前に教育を施すことにはプレッシャーと達成感の両方がありますが、生徒一人一人を立

派な人間に育てていくことにやりがいを持ちながら日々奮闘していきたいと思えます。特に生徒には「人生はチャレンジだ」(プロレスラー故ジャンボ鶴田の名言)ということを強く伝えて、積極的なチャレンジ精神を培わせたいと考えています。

まだまだ至らぬ点多々ありますが、ご指導の程よろしくお願いたします。

一、中川 章代

二、非常勤講師(高等学校 英語)

四、読書、美術鑑賞

五、本年度より、ご縁あつて高田学苑でお世話になっております。母

校ではありませんが、結婚して以来三十年間津市内に住んでおりますので、歴史と伝統のある高田学苑がどんな立派になり、教育環境が整えられていく姿を身近に見てまいりました。着任して一ヶ月半、恵まれた環境で充実した学校生活を送る生徒たちとともに自分

も新たな気持ちで英語と向かいあう日々心地よい緊張感を感じております。

このご縁に感謝し、自分の責任を果たせるよう努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

一、鬼藤 スマティ

二、非常勤講師

三、英語

四、旅行とサッカー観戦

五、本年度の四月から高田学苑で非

常勤講師として、お世話になっております。息子が以前本学苑を卒業させていただき、おかげさまで就職することができました。先生方の充実した指導や、学苑の教育システムには大変感謝いたします。私も、素晴らしい先生方のように自分の力を最大限に出して、生徒がレベルアップできる授業をしていきたいと思っております。具体的には、コミュニケーション活動の機会をたくさん増やし、生徒が実際に使える英語を育てていきたいです。そして本学苑を卒業することに誇りを持って欲しいと願っています。至らぬ点多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、日々精進し頑張る所存でございます。どうぞご指導のほどよろしくお願いたします。

私も日々努力して参ります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

一、岩佐 純巨

二、中高 数学非常勤講師

四、野菜つくり

五、教員生活からの完全リタイアも

考えていたのですが、ご縁がありこの四月からお世話になることになりました。十数年前に、生徒・保護者の学習観の変化を感じ始め、それ以降、アクティブラーニング型の授業に取り組んでいます。ただ、授業は対象生徒に応じて変化するものです。経験だけに頼らず常に新しい目で生徒たちを観察しながら、高田中高の生徒たちにふさわしい授業を作り上げたいと考えています。

一、塩崎 愛

二、高校美術

三、美術部

四、旅、御朱印集め

五、本年度よりご縁がありまして非常勤講師として高田学苑でお世話になっております。

今まで公立の高校で勤務しておりましたが、高田学苑に着任してから一ヶ月が経ち、改めて歴史と伝統のある高田学苑に勤務させていただけることに喜びを感じ、設備、環境が整ったこの学苑で勉学に部活に励む生徒と一緒に自分自身も成長できることに感謝する日々を過ごしています。

まだまだ至らぬ点が沢山あると思いますが学苑のお役に立てるよう

うに精進していきたいと思っております。ご指導の程よろしくお願いたします。

一、宮本 京子

二、中学校美術科 非常勤講師

四、彫刻家として制作発表活動

五、今年度より母校高田学苑にて中学校美術科の授業担当を拝命致しました。

私は、約三十五年間に渡り、現在も彫刻家として国内外の展覧会への出品、展示活動を続けております。又、過去十二年間は大学及び短期大学の子ども学科において、基礎造形の授業も担当させて頂きました。振り返れば今日まで様々な形で、常に制作とは切っても切れない道を歩んで来たような気が致します。

私にとって高田学苑での三年間は、芸大受験と進学、そして作家へと進む後の人生に大きな指針を頂いた貴重な日々でした。健全な宗教思想に基づいた素晴らしい教育理念を掲げるこの学び舎にこそ、自身の出発点が存在すると言っても過言ではありません。

中学校での指導は経験が少なく、これからも更に学ばせて頂く事が沢山あります。先生方のご指導を頂きながら、報恩の心を忘れず若い学苑諸賢のお役に立てるよう努力したいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。

中学校での指導は経験が少なく、これからも更に学ばせて頂く事が沢山あります。先生方のご指導を頂きながら、報恩の心を忘れず若い学苑諸賢のお役に立てるよう努力したいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。



一、倉田 哲
 二、非常勤講師(社会)
 四、音楽鑑賞、花卉栽培、旅行
 五、はじめまして。本年度よりご縁あつて、非常勤講師として伝統ある高田学苑にお世話になっております。私自身この中学の卒業生であり、四十数年ぶりに今度は教員として校門をくぐらせていただけたことに、たいへん喜んでおります。着任してはや一月が過ぎましたが、週に二日の勤務のため、いまだにやや慣れない部分もあります。かけがえのない未来にむかって毎時間一歩一歩着実に駆け上がっていかうとしている生徒たちの明るい声に励まされ、本学で授業ができる喜びを感じています。

微力ではありますが初心に立ち返り、今まで以上に常に真剣勝負で生徒たちとともに学んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

一、大野 摩耶
 二、非常勤講師(体育)
 四、ドライブ・サッカー観戦
 五、ご縁があり、本年度から高田学苑で非常勤講師としてお世話になります。二年前から、高田短期大学女子サッカー部・みえ高田FCのサッカー指導の方に携わらせていただいております。専門種目以外を指導する事で、自分自身の幅を広げる機会を頂き感謝しております。至らぬ点も多く、周りの先生方にはご迷惑をおかけする事があると思いますが、ご指導のほ

ど宜しくお願い致します。

一、有瀧 壮
 二、保健体育科、クラブ指導員
 四、音楽鑑賞
 五、本年度より、高田中・高等学校で保健体育科の講師としてお世話になっております。このような機会を頂いたことに感謝しながら一日一日を大切に生徒に指導していきたいと思ひます。体育では体力や技術を育てるだけでなく、心を育てる役割もあります。授業や部活動での心を育てる指導で難しさを感じることはありますが、生徒の成長を感じるたびに心の指導の大切さや指導者としての喜びを日々実感しております。私はこれまで二年間、本校で部活動の指導をさせて頂いてきました。これからはより多くの生徒の成長に関われるよう、これまで以上に一人一人に目を向けて指導していきたいと思ひます。そのためにも指導者として成長していきたいと思ひますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

一、前出 祐社
 二、事務部会計課
 四、最近温泉に入つてリフレッシュすること、三重県の美味しいお店を探することにハマつてます。
 五、学生時代は気づかなかつたことが多くあり、毎日新鮮な気持ちで過ごしています。伝統ある高田学苑で働かせていただけることを誇りに思ひ、少しでも本校の発展に

一、奥山 重康
 二、国語(高等学校)
 四、読書・サイクリング・音楽・映画鑑賞・車・茶道等
 五、五月から国語科の非常勤講師としてお世話になっております。高田学苑の校舎はもとより、敷地に入らせていただくのも初めてでした。静謐な環境のもと、充実した施設、明るい雰囲気がとても印象的でした。

高田高等学校でこうして授業をさせて頂いたことになりました。何かのご縁と思ひ、感謝しております。教室の位置もまだ把握しきれず、自分が授業を担当する教室をさがしてうろうろしている新参者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

一、堀内 由香里
 二、キャリア支援センター及び育児文化研究センター
 四、ドッグスポーツ、ピアノ
 五、今年度四月より、キャリア支援サポーター、育児文化センターおやこひろば、非常勤講師を担当することになりました。昭和五十四年に、高田短期大学保育科を卒業し、思い出深い短大で、学生の皆さんと一緒に生活できる喜びを感じています。公立幼稚園勤務で得た経験を、学生皆さんの質の高い実践力へと繋がるよう、また生涯にわたる保育職の就職支援のお手伝いができるようにしたいと思ひております。

今年度、たくさんの方々との出会いがあり、また、私自身も、たくさんの方の新しいことに、チャレンジしています。本学の教育理念である『やわらか心』の社会人の

一、伊藤 由香
 二、外国人留学生支援室アドバイザー
 四、読書
 五、外国人留学生支援室アドバイザーとして着任いたしました。中学校やNPO、大学等で行ってまいりました外国人への支援経験を活かし、本学のお役に立てればと思ひます。

短 大

育成を目指して、本学で出会った皆さんに感謝しつつ、日々、真摯に努力してまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

三重県は、外国人の多い県です。平成三十年十二月十日、法務省発行の「平成三十年版在留外国人統計」によると、三重県の全国的な順位は、平成二十九年末で第四位(二・七三%)となっております。少子高齢化の進む日本社会で、外国人との共生は避けて通れない時代になっているのではないかと思ひます。

学生の皆さんには、本学の教育理念である「やわらか心」をもち、文化の多様性や豊かさを学び、地域社会や世界で活躍できる人物になっていただきたいです。

私自身、至らぬ点も多く、学びの途中ではありますが、本学の皆様のお役に立てるよう一層精進いたします。どうぞよろしくご指導のほど、お願いいたします。



進路指導

平成30年度生は、三年制I類223名、II類181名の合計404名、六年制187名が卒業しました。
平成31年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとめましたので、ご報告します。

進路状況

平成31年度入試の全体・三年制・六年制の進学結果は、次の通りです。

	三 年 制				小計	六 年 制		小計	合計
	I 類		II 類			現	卒		
	現	卒	現	卒					
四年制大学	0	0	17	0	17	65	29	94	111
国 立	0	0	8	1	9	8	7	15	24
公 立	142	0	234	32	408	286	180	466	874
私 立	0	0	0	0	0	1	2	3	3
文部科学省所管外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海 外	7	0	4	0	11	0	0	0	11
短大	42	1	3	0	46	1	0	1	47
公立各種・専門学校	3	0	6	0	9	1	0	1	10
私立各種・専門学校	56	1	9	0	66	0	0	0	66
就職	8	0	1	0	9	1	0	1	10

○三年制

主な大学進学先

富山大学	2名
信州大学	1名
静岡大学	1名
三重大学	1名
名古屋市立大学	9名
三重県立看護大学	1名
法政大学	1名
明治大学	1名
立教大学	1名
早稲田大学	1名
愛知大学	7名
中央大学	15名
南山大学	3名
名城大学	27名
皇学館大学	56名
同志社大学	5名
立命館大学	5名
高田短期大学	42名

過去5年間の合格者推移

	H27	H28	H29	H30	H31
卒業生	412	426	374	392	404
国公立大学	13	28	37	22	26
私立大学	477	448	445	421	408
短期大学	77	84	48	69	57
各種・専門学校	56	88	54	60	75
就職	3	12	2	8	9

昨年度に引き続き、首都圏を中心とする大規模大学の定員抑制により、全国的に大学入試が本年度入試でも

高校進路指導部

難化傾向が続きました。しかしながら、本年度は昨年度に比べ、本校の受験生諸君はかなり健闘してくれました。今年度は大学入試センター試験最後の年となり、受験生全体の超安定志向が現時点でみられます。その点を注視しながら進路指導を行っていきたいと思います。

○六年制

主な大学進学先

東京大学	11名
名古屋大学	13名(医学科3名)
三重大学	24名(医学科17名)
京都大学	9名
大阪大学	6名
神戸大学	3名
慶應義塾大学	4名
早稲田大学	8名
同志社大学	3名

過去5年間の合格者推移

	H26	H27	H28	H29	H30
卒業生	190	213	188	194	193
国公立大学(全体)	132	132	120	106	114
国公立大学(現役)	95	103	92	89	79
私立大学	436	531	391	396	386
医学部(私立大学含)	70	103	76	71	66

昨年度に比べて健闘できたと思えます。六年制も、三年制同様、本年度は

中・高部活動

■中・高柔道部

〈中学・高校男子〉
令和元年度部員数
中学生 二年生 男子一名 女子一名
一年生 男子一名 計三名
高校生(男子)
三年生 二名
六年生 二名
二年生 六名
一年生 六名
四年生 一名 計十七名

〈高校女子〉

【二〇一八年度】
諸大会成績(上位入賞のみ)
◎第三十八回三重県高等学校女子柔道新人大会全国高校柔道選手権予選
二〇一九年一月十九・二十日
名張市武道交流館いきいき
団体戦 準優勝
52kg級 優勝
I年 大西 亜虹

・三重県高校総体 柔道競技 男子

最近の諸大会成績(上位入賞のみ)
男子団体 5位
男子個人90kg級 2位
III年 渡邊 敦也
60kg級 5位
(東海総体出場)
I年 田中 優羽
100kg級 5位
II年 山下 温大

【二〇一九年度】

無差別級 3位
I年 平賀 美羽
II年 河島 葵
二〇一九年度部員数
高校生III年生 女子一名
II年生 女子五名
I年生 女子九名
計 女子十五名

◎第三十四回三重県高等学校女子柔道選手権大会

二〇一九年四月二十日
名張市武道交流館いきいき
団体戦 3位

◎二〇一九年度全日本ジュニア柔道体別選手権三重県予選会

二〇一九年四月二十七日
名張市武道交流館いきいき
48kg級 準優勝
I年 後藤 優菜

平素は、学苑をはじめ、卒業生の皆様、保護者の皆様よりご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。今年度は、新入生七名(含四年生)を迎え、また、新任教員の山口(平成二十六年度卒)も顧問に加わり、新たな顔ぶれでスタートを切りました。

今後、勝負に執着するだけでなく、全部員が学苑での生活で「文武両道」を成し遂げるべく、取り組んで参ります。今年度も、変わらぬご指導、ご声援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

52kg級 優勝 Ⅱ年 大西 亜虹

(東海ジュニア柔道選手権大会出場)

52kg級 3位 Ⅰ年 林 美羽

57kg級 優勝 Ⅱ年 久保 初綺

(東海ジュニア柔道選手権大会出場)

57kg級 3位 Ⅱ年 平賀 美羽

57kg級 3位 Ⅰ年 前田明日香

63kg級 3位 Ⅱ年 伊勢谷晏未

63kg級 3位 Ⅰ年 辻 悠花

70kg級 3位 Ⅲ年 河島 葵

70kg級 3位 Ⅰ年 榊木 碧

78kg級 優勝 Ⅰ年 下田 舞愛

(東海ジュニア柔道選手権大会出場)

78kg超級 3位 Ⅰ年 保田 恭輝

◎第六十九回三重県高等学校総合体育大会柔道競技
二〇一九年六月一・二日
名張市武道交流館いきいき

団体戦 準優勝 (東海総体出場)

48kg級 準優勝 Ⅰ年 後藤 優菜

52kg級 優勝 Ⅱ年 大西 亜虹

(インターハイ・東海総体出場)

52kg級 3位 Ⅰ年 林 美羽

52kg級 3位 Ⅰ年 川崎 祥乃

57kg級 準優勝 Ⅰ年 前田明日香

(東海総体出場)

57kg級 3位 Ⅱ年 久保 初綺

63kg級 準優勝 Ⅱ年 伊勢谷晏未

(東海総体出場)

70kg級 3位 Ⅲ年 河島 葵

70kg級 3位 Ⅱ年 平尾みなみ

78kg級 優勝 Ⅰ年 下田 舞愛

(インターハイ・東海総体出場)

78kg超級 優勝 Ⅰ年 保田 恭輝

(インターハイ・東海総体出場)

平素は、学苑をはじめ、OB・OGの皆様、保護者の皆様よりご理解ご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。今年度は、団体戦にて東海総体に初出場することができました。また、個人戦では多数の生徒が県で上位に進出し、インターハイをはじめ東海総体、東海ジュニアに出場することができました。この結果に満足することなく、さらに強化を進めてまいります。今後も変わらぬ応援をよろしくお願い致します。

■中・高剣道部

「働き方改革」「運動部活動の在り方」に関する総合的なガイドライン等、思いを持つ教員や生徒にとってはおアウェイなご時世。部活動自体の概念が変わっていく方向にあり、部活指導が、教員の仕事ではなく生徒というよう話も現実味を帯びてきた。勿論、部活動が学業に支障をきたすようなことがあってはならないし、そのために健康を害するよう

なことがあっては本末転倒である。我々教員も部活動を理由に、教員としての本来の仕事をおろそかにすることなどあってはならない。でもどうしたって、放課後の当り前の光景がなくなることは想像できない。中学生九人、高校生二十三人が、全国大会を目指して稽古に励んでいる。なかなかの有所帯だ。つい数年前は、人数不足で高田高校剣道部の歴史が途絶えるかもしれない危機だったことをつい忘れてしまいがちになる。毎日の道場の活気が本当にうれしく思う。何より、皆剣道が好きだ。好きだけでは勝てない。でも好きでないと勝てないと思う。勝ちにこだわるのが、悪とするの奥の深さを知ることは学びにつながる。だから、なんとわれようと頑張ろうと思う。

【高校生結果】

- 三重県高校総体
男子団体戦 第5位
女子団体戦 第5位
男子個人戦 第3位 桐山 颯(3年)
* 東海高校総体出場

【中学結果】

- 津市中学校春季総体
男子団体戦 準優勝
男子個人戦 第3位 熊澤 牙輝(3年)
第3位 稗田久寿都(3年)
第5位 溝口雄樹人(3年)

OB・OGの皆様、いつも温かい応援、ありがとうございます。稽古に来ていただけることを楽しみに、日々精進したいと思えます。

■中・高箏曲部

箏曲部は現在、高校Ⅲ年生三名、Ⅱ年生一名、一年生五名、中学三年生八名、中学二年生十一名、中学一年生五名の計三十三名で活動しています。月曜日から金曜日の放課後に練習があり、水曜日と金曜日には外部指導者の尾田香代子先生に来ていただき、指導をしていただいています。今年も新入部員が入部し、力を合わせて演奏できるように、毎日練習に励んでいます。

昨年度は、八月に三重県高等学校日本音楽演奏会に出場しました。高校一年生にとっては、この演奏会が初めての大舞台であり、不安や緊張そして期待を抱きながら演奏会まで毎日練習を重ねました。練習では部員全員が揃わないことも多く、なかなか上手に演奏することができず、焦りを感じることもありましたが、しかし、尾田先生が根気強く教えてくださり、部員同士で声を掛け合いました。その結果、本番では部員全員が団結し、これまでで一番良い演奏をすることができました。そのため、二位という素晴らしい結果を残すことができました。その結果を受け、近畿高等学校総合文化祭徳島大会の日本音楽部門に三重県代表として参加させていただきます。遠方であり、他校の演奏をゆっくりと聴くことはできませんでしたが、各県の代表校の一員として同じ舞台上に立てたことは、部員全員の自信となる経験になりました。

私たちはこの経験から、部員が一人丸となって団結する難しさを感じました。そして、何より仲間がいることが、その困難はきつと乗り越えることができるのだと学びました。今年も三重県日本音楽演奏会に出

場し、いい結果につながるような演奏を目指しています。その演奏会に向けて、部員一同、力を合わせて、日々練習を積んでいきたいと思えます。 部長 中道瑞葵

■中・高美術部

私たち美術部は、中学生九人、高校生十人の計十九人で活動しています。昨年度と同じく文化祭、私学展への作品展示を目標としますが、今年度は新顧問を迎え、制作活動の幅を広げていきたいと思えます。入部時は基礎的なデッサンから始める生徒も高学年になると大作にチャレンジしています。様々な学年が同じ教室で作品を制作しているのが、自分の画力を上げるため、身近なモチーフを描いている生徒もいれば、様々な公募展に応募する生徒もいます。小さな立体を制作している生徒もいます。それぞれが自分の目標に応じて作品を制作しています。私学展は今年度も一月に行われる予定です。是非美術館に足を運んで頂けるとありがたいです。

■中・高文芸部

文芸部は、高校文芸部員十四名と中学文芸部員十一名とが一緒に活動しています。 高校文芸部は、平成三十年八月八日(水)〜八月十一日(土)長野県佐久市で開催された第四十二回全国高等学校総合文化祭長野大会文芸部門の短歌部門と俳句部門で県代表に選ばれて参加しました。また、その代表者二名のうち、豊田佳那さん(平成三十一年三月卒業)が、第一回金沢大学「超然文学賞」小説部門において最優秀賞を受賞し、平成三十年十二月二十二日(土)に金沢東急ホ

テルで行われた表彰式に出席しました。「超然文学賞」は、新しい世界を拓く「言葉の若き探求者」を見つめるために、昨年度金沢大学が新設した賞で、都道府県のコンクール等で上位入賞を果たしたことがある者のみが応募できる賞です。さらにもう一名の代表者樋口陽介さん（平成三十一年三月卒業）の短歌十五首が、「超然文学賞」短歌部門において佳作を受賞しました。

中学文芸部には公式な大会がありませんが、高校生部員と切磋琢磨しながら創作活動に励んでいます。芸部は、これからもますます積極的に活動していきたいと思えます。

■中・高将棋部

五月六日に行われた第五十五回全国高等学校将棋選手権大会予選において、高田高校は男子団体戦優勝、女子団体戦優勝、男子個人戦で本田竜大が準優勝し、佐賀県で行われる全国大会への出場権を獲得しました。また、五月十九日に行われた第十五回中学校将棋団体戦三重県大会において、高田中学校は団体優勝し大阪で行われる西日本大会への出場権を獲得しました。

将棋部は中学生十七名、高校生二十一名の計三十八名の部員が所属しています。放課後は三時間ほど実戦中心の練習を行い、対局後はお互いの良かったところや、悪かったところなどを話し合い、検討をしています。また、土日には他校に練習試合へ行くなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。

中学生、高校生ともに確実に力がついてきているので、全国大会で入賞することを目標に日々練習に励んでいます。

■中・高クリケット愛好会

クリケット愛好会は、オーストラリアとの国際交流を契機としてチームを作り、十一年前に活動を始めた。国内の高校で、クリケットを部活動として行う学校は二校しかない、日本では比較的競技人口の少ないスポーツです。毎年、JOC主催の十九歳以下クリケット日本選手権大会へ参加し、全国から集まったクラブチームとリーグ戦を行い、上位入賞を目指しています。現在、中学生五名・高校生十四名、合わせて十九名の部員が日々活動を行っています。そのうち二名は、十九歳以下日本代表候補強化対象選手に選ばれ、将来的に日本代表選手に選ばれアジアや世界の中で活躍することを目指してチームのメンバーと共に練習をしています。部員全員が初心者で、県内に練習試合を行うチームがないので、実戦練習が不足するという悩みがありますが、生徒が主体的に練習メニューを作り、チーム内の絆を深め、万全の態勢で試合に臨めるよう励んでいます。

今年度は、練習試合で良い結果を出しており、公式戦でも手応えを感じています。毎試合ごと、チームと個人の課題を全員で見出し、次の試合へ生かせるよう努力しています。その中で僕たちが大切にしていることは、野球ができることに感謝をすること、部員同士お互いに認め合いながら、技術を磨くため切磋琢磨することです。また、中学軟式野球部がより良い部活になるように、先輩方がこれまで築いてこられた練習方法や野球に対する熱い思いを受け継いでいきたいと思っています。

高田中学へ入学したので勉強に力を入れますが、夏の大会が近い今、部活動も必死に取り組んで行きたいです。

■中学軟式野球部

5d 白木康太
II F 川上大貴

■中学軟式野球部

主将 三年 a 組 直田 晴樹

僕たち中学軟式野球部は、三年生十六名、二年生十五名、一年生十二名の計四十三名で活動しています。主に、週三回の朝練と学校のある日の放課後と土曜日に練習しています。

日々の練習は、筋トレやランメニューなどのトレーニング、キャッチボールや走塁などの基礎的な練習、

守備や打撃、連携プレーなどの実践的な練習を行っています。グラウンドでは、チーム内のコミュニケーションや大きな声を出すことを意識して練習しています。

今年度は、練習試合で良い結果を出しており、公式戦でも手応えを感じています。毎試合ごと、チームと個人の課題を全員で見出し、次の試合へ生かせるよう努力しています。その中で僕たちが大切にしていることは、野球ができることに感謝をすること、部員同士お互いに認め合いながら、技術を磨くため切磋琢磨することです。また、中学軟式野球部がより良い部活になるように、先輩方がこれまで築いてこられた練習方法や野球に対する熱い思いを受け継いでいきたいと思っています。

高田中学へ入学したので勉強に力を入れますが、夏の大会が近い今、部活動も必死に取り組んで行きたいです。

■中学卓球部

私たちは、三年生男子十八人、女子十一人、二年生男子二十二名、女子十四人が入部し、男女合わせて八十四人で活動しています。

中学卓球部では、先輩と後輩の仲が良く、楽しく活動しています。ラリーや試合形式での練習を中心として、ときには男女も学年も交えた校内試合をしています。また、ネットを利用して多球練習をし、個々の技術を磨いています。

昨年の鎮江杯と、今年の津市中学校春季大会では女子団体がベスト8に入りました。また、今年の津卓球選手権大会では、準優勝した男子部員とベスト16に入った女子部員がいます。真面目にコツコツと練習した

成果がよく出てきていると思います。七月には三年生の引退試合があります。その大会で、男子女子共に、団体戦ではリーグ突破して決勝トーナメントに進むことを目標とし、個人戦では一人でも多くよい良い結果が残せるよう精進していきます。これからはさらなる飛躍を目指して、日々の練習に励んでいきますので、よろしくお願いたします。

■中学ソフトテニス部

私たち中学ソフトテニス部は、一年生十二名、二年生十二名、三年生十四名の合計三十八人で活動しています。一年生はまだ慣れない環境ながらも声を出し、一つ一つの練習を地道に頑張ってくれています。二年生は去年に比べ、先輩としての顔つきになり、新しく入ってきた一年生に的確に様々なアドバイスをしています。三年生は最後の試合に向けて良い成績が残せるよう、限られた時間の中で自分自身の課題を見つめ直しています。また、後輩達とも休憩時間には笑い合い、楽しく雰囲気部門活動を行っています。

初めのころは練習に集中せず、顧問の先生方に怒られることもありましたが、しかし今では、楽しくコミュニケーションをとりながら先輩・後輩と一緒に昼食を食べたり、真剣な眼差しで練習に励んだり、メリハリをつけられるチームになりました。これからこの個性豊かなチームで一致団結して、最後の試合に悔いが残らないように頑張っていきたいです。

■中学陸上競技部

中学陸上競技部は、男子二十三名、女子十七名の計四十名で活動しております。今年度は、一年生八名が入部しました。そのほとんどが陸上競技未経験者ですが、上級生の指導を受け、日々練習に励んでおります。練習では、主に長距離と短距離に分かれ、各バート長が中心となりメニューに取り組みようにしております。その際は、個々で別々の練習をするのではなく、部員が一体となって活動するよう心がけております。また、ストレッチやマッサージなどのケアに重点を置き、怪我なく練習ができるように努めております。

昨年度は、長距離では、三重県中学校駅伝・男子の部・第五位と、過去最高の結果を残しました。短距離では、現キャプテンの水谷玲仁君が、中学C区分1000mと4x1000mリレーの三重県代表として、全国ジュニアオリンピックに出場しました。

今年度、全国駅伝出場や、男子4x1000mリレーでの全国中学校体育大会出場などの目標を掲げ、生徒達は日々練習に励んでおります。中学陸上競技部の伝統を受け継ぎ、精進していく所存でありますので、樹心同窓会会員の皆様のご支援のほど、よろしくお願致します。

■中学馬術部

中学馬術部は、今年で十二年目を迎えました。現在三年生一人、二年生五人、一年生八人の計十四名で活動しています。三年生は一人と少ないですが、馬術部に入るために中学受験をしたという生徒もおり、人気のクラブの一つだと思います。中学生は主に、一般の大会に出場しますが、唯一中学生だけの出場する



部長 界外 心

大会として全国中学生馬術交流会があります。この大会は、慶応義塾中等部、早稲田大学高等学院中等部、立教新座中学校、福井工業大学附属福井中学校、甲南大学付属甲南中学校、そして高田中学校の六校で行っています。会場は毎年持ち回りで、今年度は高田中学校が当番校となっており、OBの皆様方にもご協力を頂き盛大に開催できればと思っています。

中学校も高校と同じく良い結果の報告をしたいと思っておりますので、応援をよろしく願います。

中学バスケットボール部は、現在男子三十七人、女子三十三人の計七十人の部員で活動しています。ほとんどの生徒が中学校からバスケットボールを始めた初心者ですが、目の前の一勝をつかみとるために、地道な練習を積み重ねています。その成果もあって、昨年度二月に行われた津市一年生大会では女子が三位に入賞することができました。

本年度は、第三体育館で練習をさせていただけのことに、さらに顧問としては、昨年度までの真岡康光・マカイヴァ裕美子・武内見暁に加えて、村田華が加わり、四人態勢となりました。

今後も、技術指導だけでなく、友達を大切にする心や自分に負けない強い心を育てていきたいと思っておりますので、皆様の温かいご支援をどうぞよろしく願います。

私達は、現部員全員が中学校からバレーボールを始めました。部活に熱中した日々はあっという間に過ぎ、七月には引退試合をひかえています。

クラブ成績表(中学校)

【放送部】			
◎第35回NHK杯全国中学校放送コンテスト			
アナウンス部門	入選	2年d組	生杉 綾香
【バスケットボール部】			
◎平成30年度津市バスケットボール1年生大会			
女子の部	第3位	高田中学校	
	優秀選手	1年b組	森下和花乃
【馬術部】			
◎2018みえ馬場馬術大会			
馬場馬術競技A-3	第1位	3年c組	中尾 真子
馬場馬術競技A-2	第3位	2年a組	伊藤 もも音
◎平成30年度全国中学校交流戦ジムカーナ競技			
	第1位	3年d組	奥田 記枝
	第3位	3年c組	中尾 真子
◎平成30年度全国中学校交流戦駆歩部班競技			
	第2位	2年a組	伊藤 もも音
【俳句同好会】			
◎東西俳句相撲			
	前頭	3年b組	梅谷 真未
	前頭	3年b組	松尾 淳仁
	優秀句	3年b組	網谷 菜桜
【なぎなた部】			
◎平成30年度津市民体育大会			
中学生個人の部	第1位	2年d組	赤塚 未悠
	第2位	1年c組	山村 愛奈
	第3位	2年a組	杉森 彩葉
【卓球部】			
◎第30回鎮江杯争奪卓球大会			
女子中学生団体B	敢闘賞	高田B	
ソフトテニス部男子			
◎津市民体育大会			
男子団体の部	第3位	高田中学校	
◎平成30年度ルーセントカップ津支部ソフトテニスインドア大会			
男子の部	第3位	1年b組	田端 航
	第3位	1年c組	大西 一輝
◎アジアカップ中学1年生ソフトテニス大会			
男子の部	優勝	1年b組	田端 航
	優勝	1年c組	大西 一輝
【数研部】			
◎第18回日本情報オリンピック予選			
	Bランク	2年e組	鈴木 涼真
	Bランク	3年e組	賀登翔一郎

◎第53回三泗陸上競技選手権大会			
中学1年男子100m	第6位	1年e組	永井 滉大
中学1年男子1500m	第6位	1年a組	河俣 翔太
中学女子4×100mR	第3位	2年b組	伊藤 優衣
		3年c組	柴田菜々子
		3年c組	鈴木 聖菜
		3年d組	古市 珠々
中学女子1500m	第6位	3年e組	藤原 望未
中学男子4×100mR	第2位	2年a組	西村 和将
		2年b組	水谷 玲仁
		2年c組	高橋 真央
中学男子100m	第3位	2年b組	水谷 玲仁
		3年c組	吉田 亘
中学男子1500m	第5位	2年d組	横元 陽大
◎第71回三重県中学校陸上競技大会			
男子800m	第8位	3年c組	吉田 亘
◎平成30年度津市中学校駅伝競走大会			
女子の部	第3位	1年a組	辻井 瑞葵
		1年d組	矢田 凜子
		3年a組	福永歩乃花
		3年c組	鈴木 聖菜
		3年e組	藤原 望未
第1区	区間賞	2年d組	横元 陽大
第2区	区間賞	3年c組	鈴木 聖菜
第3区	区間賞	1年a組	辻井 瑞葵
男子の部	準優勝	1年a組	河俣 翔太
		2年b組	後藤 慧
		2年b組	本城遼太郎
		2年d組	横元 陽大
		2年e組	堀内 力巴
3年c組	吉田 亘		
第5区	区間賞	3年c組	吉田 亘
◎三重県中学校駅伝競走大会			
男子の部	第5位	2年b組	後藤 慧
		2年b組	矢崎 瑠歩
		2年b組	本城遼太郎
		2年d組	横元 陽大
		2年e組	堀内 力巴
3年c組	吉田 亘		
◎第39回三泗長距離選手権大会			
中学男子3000m	第5位	3年c組	吉田 亘
◎第20回三重タスキリレー			
中学男子	第4位	2年d組	横元 陽大
		2年e組	堀内 力巴
		1年a組	河俣 翔太
		1年c組	中世古陽輝
		2年b組	矢崎 瑠歩

平成30年度			
【陸上競技部】			
◎第34回三重リレーカーニバル			
中学男子1500m	第8位	3年c組	吉田 亘
2018第1回津記録会			
中学女子4×100mR	第3位	2年b組	伊藤 優衣
		2年c組	根岸 宥依
		3年c組	柴田菜々子
		3年d組	古市 珠々
中学男子1500m	第1位	3年c組	吉田 亘
中学男子400m	第3位	2年a組	西村 和将
中学男子800m	第2位	3年c組	吉田 亘
◎第4回鈴鹿市記録大会			
中学男子1500m	第1位	3年c組	吉田 亘
◎第41回四日市中学校カーニバル			
男子1500m	第2位	3年c組	吉田 亘
1年男子1500m	第7位	1年a組	河俣 翔太
2年男子100m	第5位	2年b組	水谷 玲仁
男子3000m	第4位	3年c組	吉田 亘
◎第2回鈴鹿市記録会			
中学男子 3000m	第2位	3年c組	吉田 亘
◎第64回全日本中学校通信陸上競技三重大会			
男子1500m	第6位	3年c組	吉田 亘
男子2年100m	第5位	2年b組	水谷 玲仁
男子400m	第7位	3年e組	多湖 友星
◎津市中学校陸上競技大会			
男子800m	優勝	3年c組	吉田 亘
	第3位	2年d組	横元 陽大
男子100m	第3位	2年b組	水谷 玲仁
男子3000m	優勝	3年c組	吉田 亘
男子400m	第2位	3年e組	多湖 友星
男子の部	準優勝	高田中学校	
低学年男子4×100mR	第2位	1年d組	宇野 湧真
		1年e組	永井 滉大
		2年c組	中埜 将吾
		2年d組	野内 日出
◎第39回三重県ジュニアオリンピック陸上競技選手権大会			
男子C 100m	第1位	2年b組	水谷 玲仁
男子A 3000m	第8位	3年c組	吉田 亘
男子B 1500m	第6位	2年d組	横元 陽大
第50回鈴鹿市陸上競技選手権大会			
中学男子 800m	第2位	3年c組	吉田 亘
		2年d組	横元 陽大
中学男子 3000m	第5位	3年c組	吉田 亘
中学男子4×100mR	第4位	2年a組	西村 和将
		2年b組	水谷 玲仁
		2年c組	高橋 真央
		3年e組	多湖 友星
中学男子 400m	第6位	3年e組	多湖 友星
中学男子1年1500m	第6位	1年a組	河俣 翔太



ます。私たちは、何気なく入部した
 当時から技術的な面の他のことにつ
 いても学びました。

それは、チームワークや仲間との
 つながりの大切さです。バレーボー
 ルはチーム競技で、ボールを繋ごう
 とする気持ちや相手への思いやりが
 なければ一本目と二本目を繋ぐこと
 はできません。また、一本目と二本
 目を繋いだひとつのおかげで三本目
 のスパイクを打つことができます。一
 度ボールが床に着いた時点でプレー
 が終わってしまうこのスポーツは、
 速いボールであったとしてもボール
 が落ちるまでの瞬時に判断し、行動
 しないといけません。そして、それ
 ぞれのポジションを各々が役割を果
 たすことで一つのチームとして成立
 します。

私たちは、仲間と繋ぐという気持
 ちを大事にしています。また、プ
 レー中の意思疎通は大きな声を出し
 て伝えるしか方法がありません。そ
 の中で、互いに注意し合うことも優
 しさや思いやりの一つであることに
 気付くことができ、仲間との絆も深
 まりました。

一人一人がバレーボールというス
 ポーツを深く知り、切磋琢磨してい
 く中でチャレンジしようとする気持
 ちから「勝ちたい」という強い気持
 ちへ成長していきました。

引退試合まで二か月あります。残
 り二か月で成長できる部分もたくさ
 んあります。仲間との絆をもっと
 もっと深め、悔いのないよう練習し
 ていきます。

最後になりましたが、いつも私た
 ちを支えてくださっている皆様には
 心より感謝申し上げます。これから
 も精進してまいります。

中学バレーボール部主将

	優秀賞	3年b組	生野ななほ
	優秀賞	3年d組	前川 奈央
◎第22回日本ジュニア数学コンクール			
団体戦	優良賞	3年a組	杵本 菜緒
		3年b組	飯田美乃里
		3年d組	前川 陽香
		3年e組	宮口 紗良
	奨励賞	2年b組	亀谷 柊瑠
		2年c組	山内 康平
		2年c組	井森 啓介
		2年d組	谷口 広翔
		2年e組	木本 菜佑
		2年e組	山口 真弘
◎生命保険文化センター主催第56回中学生作文コンクール			
都道府県別賞	1等	1年e組	梅村理紗子
	3等	1年b組	中村貫太郎
	佳作	1年a組	黒田 紗那
	佳作	1年d組	安達 桃花
	佳作	2年d組	赤塚 未悠
◎第47回佐佐木信綱顕彰歌会			
	佳作	1年c組	山中 結愛
	佳作	1年e組	梅村理紗子
	佳作	3年e組	宮口 紗良
	鈴鹿市長賞	1年c組	川崎 星良
◎読売新聞社主催 第68回全国小・中学校作文コンクール三重県審査			
	佳作	1年d組	大島 千佳
	最優秀賞	2年c組	堀池 恵真
	優秀賞	2年a組	伊藤 愛奈
	優秀賞	2年e組	川本 里奈
◎郷土三重を英語で発信！ワンペーパーコンテスト			
	奨励賞	2年a組	徳安佑美佳
◎第18回読書感想文「こころの木」			
	感動賞	1年d組	坂野 日音
◎独立行政法人国際協力機構主催国際協力中学校・ 高校生エッセイコンテスト2018中学生の部			
	佳作	2年a組	増田 結衣
◎第23回約東（プロミス）エッセー大賞			
	佳作	1年c組	山中 結愛
◎第62回全国学芸サイエンスコンクール			
中学生の部	読書感想文 部門努力賞	1年b組	酒井 優綺
◎第29回日本数学オリンピック予選			
	Aランク	3年b組	磯部 健史
◎第17回日本ジュニア数学オリンピック予選			
	地区で 優秀な成績	3年d組	林 東吾
◎第10回ありがとうの一行詩コンクール			
家族の絆・個人部門	入選	1年b組	西村明日香
	佳作	1年d組	山名 亨騎
◎国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト			
	特別学校賞		

中央審査会	佳作	1年a組	林 汰樹
	佳作	2年b組	亀谷 柊瑠
	入選	1年b組	杉山なつみ
	入選	2年d組	前田あずみ
◎第15回琵琶湖・淀川流域水の作文コンクール			
	流域賞	1年a組	林 汰樹
◎三重県中学校水泳競技大会			
女子50m自由形	第7位	2年e組	原口 綾華
女子800m自由形	第3位	3年a組	北川 水都
女子400m自由形	第7位	3年a組	北川 水都
◎第6回科学の甲子園ジュニア三重県大会			
	フレッシュ賞	1年a組	小塚 大雅
	フレッシュ賞	1年c組	名越 聖
◎第24回小諸・藤村文学賞			
中学生の部	優秀賞2席	3年b組	松尾 淳仁
◎高田宮杯第70回全日本中学校英語弁論大会三重県大会			
	優秀賞	2年d組	前田あずみ
◎第7回河野裕子短歌賞「青春の歌」			
	入選	1年e組	尾崎素乃香
◎JFAナショナルトレセン女子U-14東日本へ東海地区 の代表として選ばれました。			
		3年d組	日比野歩空
◎第22回日本ジュニア数学コンクール			
団体戦	奨励賞	2年c組	岸野 大輝
	奨励賞	2年e組	鈴木 涼真
◎読売新聞社主催 第68回全国小・中学校作文コンクール三重県審査			
	佳作	1年e組	森 仁美
	優秀賞	2年b組	前田安優佳
◎第70回三重県中学校学年別水泳大会			
100m背泳ぎ	第6位	2年e組	原口 綾華
100m平泳ぎ	第8位	2年d組	新岡 直次
200m自由形	第4位	3年a組	北川 水都
400m自由形	第6位	3年a組	北川 水都
50m自由形	第5位	2年e組	原口 綾華
◎第6回科学の甲子園ジュニア三重県大会			
筆記競技	準優勝	1年e組	大村 美裕
	準優勝	1年e組	仲家 拓海
	準優勝	1年e組	堀内 遥斗
	フレッシュ賞	1年e組	名和 優隼
◎中学生の税についての作文			
	佳作	3年a組	中川亜彩美
	佳作	3年a組	当麻 雄貴
	佳作	3年a組	杉山 直弘
	中勢納税 野審組合 連合会 会長賞	3年b組	飯田美乃里
	津市長賞	3年d組	上野 夏穂
	津税務署長賞	3年b組	水野 亜美
左大臣閣議賞	3年b組	大谷 夏鈴	
	優秀賞	3年a組	松本 蒼依
	優秀賞	3年b組	磯部 健史

【将棋部】			
◎第14回小・中学校将棋三重県大会			
団体戦	準優勝	1年e組	伊藤 克
		1年e組	若林 俊希
	第3位	3年b組	小林 映斗
		2年b組	高村 琉
	2年d組	神田 悠輔	
	2年e組	中尾 信社	
【柔道部】			
◎第40回東海中学校総合体育大会			
男子66kg級	第2位	3年a組	木村 玄紀
【サッカー部】			
◎マルヤスリーグ 2018			
	優秀選手賞	2年a組	水谷 諒
【剣道部】			
◎夏季総合体育大会			
男子団体	準優勝	高田中学校	
男子個人	第3位	3年d組	石須 永哲
◎三重県中学校剣道大会			
男子個人	敢闘賞(第5位)	3年d組	石須 永哲
男子団体	敢闘賞(第5位)	高田中学校	
◎津市民体育大会			
男子の部	第2位	2年c組	稗田久寿都
◎秋季剣道錬成大会			
男子団体	第5位	高田中学校A	
◎三重県中学校新人剣道大会			
	優秀選手	2年a組	溝口雄樹人
男子団体	敢闘賞(第5位)	高田中学校	
男子個人	敢闘賞(第5位)	2年c組	稗田久寿都
男子個人	第3位	2年a組	溝口雄樹人
◎中納淳先生八段昇段記念第39回三重県少年剣道嬉野大会			
中学生男子の部	第3位	高田中学校	
【科学部】			
◎第15回中学生技術・家庭科創造アイデアロボット コンテスト三重県大会			
	優勝	3年b組	尾崎 秀真
	優勝	3年d組	吉村 悠汰
	3位	3年b組	小林 亮佑
	3位	3年d組	水谷 瑠雅
	ロボット大賞	3年b組	尾崎 秀真
	ロボット大賞	3年d組	吉村 悠汰
【個人賞】			
◎夏季総合体育大会テニス大会			
女子シングルス	準優勝	3年e組	加藤ほなみ
◎第29回伊藤園おーいお茶新俳句大賞			
	佳作 特別賞	3年b組	網谷 菜桜
◎第40回全日本中学生水の作文コンクール			
三重県審査会	三重県優秀賞	1年a組	林 汰樹
	三重県優秀賞	2年b組	亀谷 柊瑠
	三重県優秀賞	1年b組	杉山なつみ
	三重県優秀賞	2年d組	前田あずみ

■中学サッカー部
「中学サッカー部を通し
学んだこと」

私達中学サッカー部は三年生七人、二年生八人、一年生六人という計二十一人で活動しています。僕達の部活はオフ・ザ・ピッチ九割という考えを心がけて練習をし、日常でも心がけています。

僕がサッカー部を通し学んだことはサッカーというスポーツは仲間のプレースタイル、技術力、という点で上手く使いチームで協力して勝利につながる良いプレーが出ると言うことです。

春の中学生では一身田中学校相手に惜しくも敗れましたがネガティブにならず改善する所を探し夏の中学生連を勝ちぬくという新たな目標も出てきました。

仲間のプレースタイル、技術を知るために練習が出来る日には出来るだけ多く練習しもっと高みを目指していけたらと思います。

オフ・ザ・ピッチ九割という考えは日常生活のあいさつ、礼儀から正すことでオン・ザ・ピッチで良い動きが出ると言う事でもあります。残り数ヶ月という短い期間ですがチームで一丸となって最後まで戦い、中学生では必ず良い成績を取られるように頑張りたいです。

■中学なぎなた部
現在十名が所属し、高校生と一緒に稽古に励んでいます。

今年から稽古場が移転したことに加え、中高の部室が別々になり、高生生の助けなしでも密度の濃い練習、規律正しい生活ができるように求められています。

ここ二年、昨夏のインターハイの

都合で全中大会に参加できず、試合経験が少ないことが現チームの課題になっていましたが、今年に入り、上を目指して行こうという気持ちが出てきました。三年振りの全国入賞に向けて頑張りたいと思います。

(主な戦績)

・二〇一九年度

三重県なぎなた選手権大会

(二〇一九年四月稲生高校)

中学女子試合の部

優勝 赤塚 未悠

2位 杉森 彩葉

※赤塚未悠・杉森彩葉・山村愛奈

木村立穂選手が七月に福井で開

催されるJOCジュニアオリンピック

ピックアップ全日本中学生なぎ

なた大会に三重県代表として出場

場します。

■中学茶道部

私たち中学茶道部は、三年生八名、二年生七名、一年生七名の合計二十二名で活動をしています。活動場所は茶室で、主に、お茶をいただく時のマナーやお点前を練習しています。週三回の少ない活動ですが、皆、一生懸命に練習しています。中でも二年生は同級生と積極的に教え合いをしたり、新しく入った一年生に優しく教えてあげたりしています。また、日頃のお稽古以外に春休みや夏休み、冬休みなどの長期休暇には、顧問の先生が一人一人お稽古をつけてくれます。初めは慣れない正座に苦労しますが、優しく厳しくかつ丁寧な教えていただけるので、楽しく作法を身につけることができます。また、毎年九月に行われる文化祭では、中学茶道部員が主となってお茶会を開きます。とても美味しいお

菓子も出るので、是非いらして下さい。今年も良い文化祭になるように、一杯日々練習を積み重ねていこうと思えますので温かい目で見守っていただけるとうり難いです。

■高校硬式野球部

私達は、三年生八名、二年生九名、一年生十三名、マネージャー九名、先生四名の計四十二名で活動しています。昨年度は、夏の大会二回戦敗退という結果に終わり、今年度は二回戦突破、ベスト8という目標を掲げて、日々練習に取り組んでいます。平日は、限られた時間の中で一人一人が自分の弱いところを見極め、切磋琢磨し合い、先生のご指導の元頑張っています。休日には、他校と練習試合をし、色々な経験を積んでいます。今年度のチームは、少ない人数だからこそ、誰か一人でも怪我をしてしまつてはいけない、礼儀を欠いてはいけない、人任せにしてはいけない。他にも人数が少ない分、気を付けなくてはいけないことがたくさんあります。その中で、上下関係を忘れず、率先して下仕事をすることが出る人が試合に出るべきだということという意識を持ち、部員同士でお互いを甘やかさずに、高め合っています。

三年生にとって、最後の夏の大会、八人という少なさで、一、二年生をまとめ、夏を二回超え、最後の集大成を迎えます。そのために、現在短ダッシュ、体幹、ピークパフォーマンスなどの辛い練習にも、チーム一丸となって協力し合い、指摘し合いながら耐え抜いています。そして、チーム全員で今しかない高校野球を全力でやり切るために、守備からリズムをつくり、攻撃に繋げ、自分たちの野球をすることで、ご指導して

下さる先生方、いつも支えてくれる家族に感謝し、仲間と共に勝ち抜くため頑張ります。

■高校軟式野球部

軟式野球部は、部員四十人で文武両道をモットーに活動しています。一人一人が常に目的意識を持ち、試合の状況を思い描きながら、日々練習に取り組んでいます。平日の練習では、限られた時間を有効に使うことを心がけ、個人のレベルアップとチームワークの向上を目指しています。休日は、主に練習試合を行い、実戦経験を積んでいます。昨年度の夏季大会、新チームで挑んだ秋季大会は良い結果を残せず、東海大会出場のチャンスを逃してしまいました。その悔しい経験を通して、オフに厳しい練習を行い、技術・体力・精神力を鍛えることができました。そして迎えた春季大会では、東海大会出場まであと一歩でしたが、県三位入賞することができました。次の夏季大会は、三年生にとつては最後の大会となります。それまでに残された時間は多くありませんが、残り少ない練習試合を通して、より一層チームを成長させます。そして、夏季大会では、チーム一丸となって戦い必ず東海大会出場を果たします。

これからも家族や友人、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で練習に取り組んでいきます。今後とも軟式野球部への応援を、どうぞよろしくお願ひいたします。

■高校卓球部

令和元年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り。

【中勢地区予選】

四月二十日 津市久居体育館

- 男子シングルスは、Ⅲ2井上大介、ⅢE伊藤光輝、Ⅲ3駒形和樹、Ⅲ3平尾拓海、Ⅱ4和田慎之助、Ⅰ3根門良太、Ⅰ2佐藤光、ⅠC山下剛史が予選通過、女子シングルスは、Ⅲ5村井結衣、Ⅲ5高北彩、Ⅱ2濱林千尋、Ⅱ2岩本怜奈、Ⅱ2後藤夏希、Ⅱ1藤倉麗菜、Ⅱ4木谷百花、ⅡA中澤美紅、Ⅰ4小崎里奈が予選を通過しました。なお三重県ランキング上位により、Ⅲ2溝田雅斗、Ⅲ4薄井陸帆、Ⅲ5郡司大紀、Ⅱ1鈴木波輝、ⅡD山本護大が予選免除での県大会出場となりました。

【シングルス部 三重県予選】

四月二十七日・二十八日

- 三重交通Gスポーツの杜伊勢 男子シングルスは、Ⅱ1鈴木波輝が三位、ⅡD山本護大が五位、Ⅲ2溝田雅斗が六位、Ⅲ4薄井陸帆が八位、Ⅲ5郡司大紀が九位。女子シングルスはⅢ5村井結衣が八位でした。一位から四位は全国総体、一位から八位は東海総体の出場権を獲得しました。

【ダブルスの部 三重県予選】

五月六日 津市体育館

- 男子ダブルスは、Ⅲ2溝田雅斗Ⅱ1鈴木波輝ペアが優勝。Ⅲ4薄井陸帆、Ⅲ5郡司大紀ペアが四位でした。一位から二位が全国総体、一位から四位が東海総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】

六月一日・二日

- 三重交通Gスポーツの杜伊勢 男子団体は二位、女子団体は三位で東海総体の出場権を獲得しました。

東海総体は六月二十二日・二十三日に湖西アメニティプラザで、全国総体は八月十五日から鹿児島アリーナで開催されます。

■高校ソフトテニス部

先日行われた県総体で三年生が引退し、現在、男子は二年生六名、I年生十二名、四年生一名の計十九名、女子はII年生三名、I年生六名の計九名で活動しております。技術の向上を目標にするだけでなく、人間的に成長することを大切にして日々練習しています。

昨年度はインターハイがスポーツの杜鈴鹿庭球場にて行われ、多くの部員が補助員として大会運営に携わりました。全国レベルの試合を味わうために、ひとりひとりの意識も変わつたように思います。東海大会や全国大会出場といった大きな実績は残せていませんが、試合になると男女が一緒に声を出して応援し、チームが一丸となって戦っています。新チームがスタートしましたが、先輩方が残してくれた伝統を引き継ぎ、よりよいチーム作りに努めたいと思います。

現在私たちは第三体育館東側にあるオムニコート二面とクレイコート一面を使って練習しています。それ以外に、J・R一身体駅近くのオムニコート二面を他の部活動と交代で使用しています。施設にも恵まれ、雨天でも練習ができるありがたい環境です。OB・OGの皆様、母校に立ち寄り寄れる機会がありましたら、是非、コートまで足を運んでください。引き続き、応援よろしく願います。

■高校硬式テニス部(男女)

硬式テニス部は、県大会において上位を目指し、日々練習に励んでいます。

部員は男女合わせて五十名を超え、使用できるコート数が少ない中でも練習内容を工夫しながら取り組んでいます。部員の中には硬式テニスの未経験者も多くありますが、先輩部員から学んだり、ある部員は個別にテニススクールに通ったりしてスキルアップに努めています。

部員同士の仲が良く、その良好な関係を築けていることは硬式テニス部の魅力です。また、部員数が非常に多いため団体戦のメンバーに選ばれることは容易ではありません。昨年度は団体メンバー選出のため、校内選考戦では学年が混じり合った中で、白熱した試合が行われました。学年を超えて切磋琢磨し合い、練習に励み、努力し合うこととお互いに厳しく鼓舞し合える関係にも繋がっていると考えています。

多くの部員が入部し、全体のレベルも年々向上しているように感じます。しかし、大会結果を振り返ると、あと一歩で勝利を逃した試合や、普段通りの自分が出せなかった試合も多く目立ちます。今後は試合の反省を生かし、より上位入賞を目指して活動していきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻をお願いすると共に、応援を宜しく願います。

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部は男子三十五名、女子十六名で活動しています。高校から陸上競技を始めた選手も多く、自己記録の更新に努力している選手から、トラック&フィールドや駅伝において東海・全国大会での活躍を目指している選手までいます。選手たちの活躍や成長は選手同士の絆によって成り立っています。個人種目でありながら、皆

が互いに支え合おうとする思いやりを持ったチームです。今シーズンは昨年以上の結果を出すことを絶対目標として、個人としてもチームとしても冬季練習からトレーニング量を増やし、周りとの競走の前に自分自身に負けない心と体づくりに取り組んできました。シーズン前半を振り返ってみると三年生が最後のシーズンで結果を出すことができたと思います。県大会、東海大会の戦いぶりも上級生の活躍に後輩たちが引け張られてどんどん自己記録を更新してくれました。ぎりぎりの戦いできびしい結果になったこともありましたが、そのことを受け入れて次に繋げていける選手になってきたと思えます。八月に沖縄で開催される全国高校総体へは二名が出場することになりました。ただ出場するのではなく、全国レベルの勝負を挑んできてもらいたいのです。そして、高田高校陸上競技部の代表として活躍してくれることを祈っています。

また、七月からは新チームになりますが、この夏しっかりと鍛えて秋のトラックや駅伝に向けた準備をしていきたいです。

第四十九回三重県高等学校陸上競技春季大会

男子	800m	準優勝	III年D組	浅野 太心
	400mハードル			
	3位	III年4組	滝谷健太郎	
	走幅跳			
	3位	II年A組	村島 佑樹	
	800m			
	5位	II年E組	田中 海吏	
	5000mW			
	5位	III年2組	荒川 幸輝	
	3000m障害			
	6位	III年4組	宮村 英志	

第六十九回三重県高等学校総合体育大会陸上競技の部

男子	800m	優勝	III年D組	浅野 太心
	走幅跳			
	4位	II年A組	村島 佑樹	
	準優勝	III年4組	上尾田武蔵	
	400mハードル			
	準優勝	III年4組	滝谷健太郎	
	8位	5年a組	川尻 功陽	
	3000m障害			
	3位	III年4組	宮村 英志	
	5000mW			
	4位	III年2組	荒川 幸輝	
	4×1000mリレー			
	7位	II年2組	猿渡 駿	
	III年4組	上尾田武蔵		
	II年D組	西浦 良		
	II年A組	村島 佑樹		
	学校対抗	男子トラックの部		
	5位			
	学校対抗	男子総合の部		
	7位			
	女子	5000mW		
	4位	III年1組	米川 彩華	
	400m			
	7位	II年C組	谷口きらら	

7種競技
第8位 4年c組 鈴木 聖葉
※6位までに入賞した選手が東海高校総体に出場

第六十六回東海高等学校総合体育大会陸上競技の部
男子 走幅跳
第4位 II年A組 村島 佑樹
800m
第5位 III年D組 浅野 太心
5000mW
第7位 III年1組 米川 彩華
※6位までに入賞した選手が全国高校総体に出場

■高校水泳部

現在高校水泳部は、III年生が三名、II年生が二名、四年生が一名で活動しています。昨年度は、個人五種目、リレー三種目で東海総体に出場することができました。今年度は、女子は個人とリレー種目すべてで東海総体出場、男子は個人種目で東海総体及び全国高校総体への出場を目標に日々それぞれの環境で練習に励んでいます。第三体育館が建設されるにあたり、プールが解体され、部としての活動はIII年生が引退する今年の八月までとなりますが、その後も個人で試合への出場がありますので引き続きご指導ご鞭撻とともに応援よろしく願います。

(昨年度の主な戦績)

・三重県高等学校選手権水泳競技大会
男子1000m平泳ぎ 第2位 橋本 翔波

- 男子2000m平泳ぎ 第2位 橋本 翔波
 - 女子2000m個人メドレー 第3位 宮部 夏帆
 - 女子2000m自由形 第8位 宮部 夏帆
 - 女子1000m平泳ぎ 第7位 神田 茉優
 - 女子4000mフリーリレー 第7位
 - 女子8000mフリーリレー 第6位
 - 女子4000mメドレーリレー 第8位
- 以上が東海総体に出場

●三重県高等学校対抗水泳競技大会
男子1000m平泳ぎ 第2位 橋本 翔波

●三重県高等学校対抗水泳競技大会
男子2000m平泳ぎ 第2位 橋本 翔波

●三重県高等学校対抗水泳競技大会
男子1000m平泳ぎ 第2位 橋本 翔波

●三重県高等学校対抗水泳競技大会
男子2000m平泳ぎ 第2位 橋本 翔波

●三重県ジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
女子2000m背泳ぎ 第3位 後藤 彩真

■高校馬術部

馬術部は現在三年生六人、二年生五人、一年生五人の計十六名で活動しています。今年も六月一日に全国大会(団体戦)の子選と東海高等学校馬術選手権大会(個人戦)が行われました。団体戦は、苦戦しながらも全国大会の出場権を獲得することが出来ました。平成二十九年度には、創部以来はじめて全国大会で準優勝

をすることが出来ました。平成三十年度は、優勝へのチャンスが十分にあったものの、ベスト12で終わりました。新しい時代の令和を迎え二年生中心のチームとなっておりますが、今年度は全国優勝を狙っていききたいと思えます。また、個人戦は東海大会で五年生の北野拓海が優勝、同じく五年生の藤原仁が準優勝と東海大会ではじめて上位を占めることが出来ました。個人戦は八月に北海道ノーザンホースフェアームで行われま

■高校男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、部員全員で話し合いコミュニケーションや自信を持ったプレーを大切にしてい県大会出場を目標に日々練習に励んでおり、先輩達の目標だった一つの試合で最後までやりきることも意識していこうと思っています。先輩達がいたときのような先輩、後輩の隔たりがなく楽しい部活にできるように頑張ります。次の大会で自分達の目標を達成できるように先生方と一緒に前向きな姿勢で頑張っていきます。

また、今年は先輩達に言われたように先生達に言われたようにするだけでなく、自分達部員が主体的にどうすれば勝てるのかを考え自分達自身で練習等を作っていきます。これからは部員全員で頑張っていくので是非また体育館へ足を運んで下さい。

第69回三重県高等学校
総合体育大会入賞
東海大会・全国大会出場一覧表
令和元年5月31日(金)～6月2日(日)

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
卓球部	男子団体	Ⅲ 5	郡司大紀	2位	○		
		Ⅲ 2	井上大介				
		Ⅲ E	伊藤光輝				
		Ⅲ 3	駒形和樹				
		Ⅱ 1	鈴木波輝				
		Ⅱ D	山本護大				
		Ⅰ C	山下剛史				
	Ⅰ 3	根門良太					
	卓球部	女子団体戦	Ⅲ 5	村井結衣	3位	○	
			Ⅲ 5	高北彩			
Ⅲ B			鈴木優菜				
Ⅱ 2			濱林千尋				
Ⅱ 2			岩本怜奈				
Ⅱ 2			後藤夏希				
Ⅱ 1			藤倉麗菜				
Ⅱ 4			木谷百花				
Ⅱ A			中澤美紅				
Ⅰ 4			小崎里奈				
バドミントン部	女子団体戦			3位	○		
柔道部	女子団体戦	Ⅲ 5	河島葵	2位	○		
		Ⅱ 5	伊勢谷晏未				
		Ⅱ 5	大西亜虹				
		Ⅰ 3	保田恭樺				

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
剣道部	男子団体戦			5位			
	女子団体戦			5位			
	男子個人戦	Ⅲ E	桐山颯	3位	○		
新体操部	男子個人	Ⅲ 3	堀陽向	優勝	○	○	
		Ⅱ F	ジュリアーノ三宅俊守	2位	○		
		Ⅱ 3	西口竜成	3位	○		
		5 d	井岡大也	4位	○		
卓球部	男子シングルス	Ⅱ 1	鈴木波輝	3位	○	○	
		Ⅱ D	山本護大	5位	○		
		Ⅲ 2	溝田雅斗	6位	○		
		Ⅲ 4	薄井陸帆	8位	○		
		Ⅲ 5	村井結衣	8位	○		
		Ⅲ 2	溝田雅斗	優勝	○	○	
	卓球部	男子ダブルス	Ⅱ 1	鈴木波輝			
			Ⅲ 4	薄井陸帆	4位	○	
			Ⅲ 5	郡司大紀			
	卓球部	男子団体	Ⅲ 2	溝田雅斗	2位	○	
Ⅲ 4			薄井陸帆				

■高校男子バレーボール部

男子バレーボール部では、「One For All All For One」をモットーとして、「ベスト8以上」を目指して日々練習に励んでいます。五月末に行われた県総体では、ベスト8を懸けた試合で敗戦し、Ⅲ年生（マネージャを含め）十名が引退となりました。悔いの残る内容ではありませんが、全力で戦うことができました。現在、Ⅱ年生、Ⅰ年生合わせて十五名で新キャプテンを中心に活動しています。

日々の練習では、自主性を大切にしており、自分達でメニューを考え、練習に取り組んでいます。バレーボールは、リベロ(守備専門の選手)を除けば、六名しかスターティングメンバーとしてコートに立つことができます。そのため、チーム内では、スターティングメンバーを懸けた「競争」が生まれます。しかし、「競争」ではありますが、私たちはお互いに切磋琢磨し合って、技術向上を図っています。また、試合では、チーム一丸となって、全員バレーで試合に挑みます。バレーボールは決して一名で出来るスポーツではありません、誰かがミスしても仲間が繋げて助け合うスポーツです。だからこそ、バレーボール部の部員全員が、良きライバルであり、良き仲間として、とても強い絆で繋がっています。ときには、意見がぶつかり合い、チームがなかなか一つにならない状況もありましたが、目標である「ベスト8以上」と「バレー部全員で一旗揚げたい」とい気持ちで最終的には、チームが一つになっていきます。

今後も「One For All All For One」を掲げ、粘り強い高田バレーで「ベスト8以上」を目指し頑張っていきます。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、三年生が引退し、男子十八名、女子十六名で活動しています。

昨年十一月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグで白子高校に勝ちましたが、四日市高校、鈴鹿高専に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。女子は、予選リーグで名張青峰高校に敗れましたが、上野高校、白子高校に勝ち、決勝トーナメントに進出することができました。しかし、決勝トーナメントで、津西高校に惜敗しました。

昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は、予選トーナメントで津高校に敗れました。女子は、予選トーナメントで津西高校に敗れました。先日行われた県総体では、男子は、津工業高校に、一点差で敗れました。また、女子は、四郷高校に敗れました。試合には敗れましたが、男女とも健闘し、日頃の成果を十分に発揮することができました。

卒業生の皆様、もし時間を作っていただくことができれば、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。

■高校サッカー部

高田高校男子サッカー部は、今年度で創部二十六年目を迎えることになりました。先日、県総体予選にて上野高校に敗戦し、三年生十一名が引退しました。現在、二年生二十名、一年生二十二名の計四十二名で活動しています。新チームは、文武両道を掲げ、勉学に励みながら、勝負にこだわっていきけるよう再出発していきます。チームの目標である「自立心」「協調性」を大切にしながら、強豪校に打ち勝てるようなチーム作りを

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国
なぎなた部	女子個人	6 e	直田 李 穂	1位	○	○
		6 b	長田 梨 奈	2位	○	○
		5 e	渥美 麻 友	4位	○	
		5 c	高林 由 珠	5位	○	
	演 技	6 b	長田 梨 奈	2位	○	○
		6 e	直田 李 穂			
	団 体	6 b	長田 梨 奈	2位	○	○
		6 e	直田 李 穂			
		6 c	中尾 桜 子			
		5 c	高林 由 珠			
5 e		渥美 麻 友				
II B		鈴木 花 奈				
	II E	正成 桃 実				
女子サッカー部				3位		
女子バレー部				3位	○	
馬 術 部	団 体	III l	里 中 優 希	5位	○	○
		5 c	北野 拓 海			
		5 e	藤原 仁			
		5 e	福森 涼 香			
		4 c	仲尾 真 子			
		4 d	奥田 記 枝			
		5 c	北野 拓 海			
	個 人	5 e	藤原 仁	2位	○	○

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国		
柔 道 部	男子個人戦別 女子個人戦別	III D	渡 邊 敦 也	2位	○			
		I 1	後 藤 優 菜	2位	○			
		II 5	大 西 亜 虹	優勝	○	○		
		I 2	前 田 明日香	2位	○			
		II 5	伊勢谷 晏 未	2位	○			
		I 2	下 田 舞 愛	優勝	○	○		
		I 3	保 田 恭 権	優勝	○	○		
		陸上競技部	男子800m 男子走幅跳 男子400m 男子400mハ 男子3000m障害 男子5000m競歩 女子5000m競歩 女子400m 男子4x100mリ 男子400mハ 女子七種競技 男子トラック部の 男子総合部の	III D	浅野 太 心	優勝	○	○
				II A	村 島 佑 樹	優勝	○	○
III 4	上尾田 武 蔵			準優勝	○			
III 4	滝 谷 健太郎			準優勝	○			
III 4	宮 村 英 志			3位	○			
III 2	荒 川 幸 輝			4位	○			
III 1	米 川 彩 華			4位	○			
II C	谷 口 きらら			7位				
II 2 III 4 II D II A	男子4x100mリ			II 2	猿 渡 駿	7位		
				III 4	上尾田 武 蔵			
				II D	西 浦 良			
				II A	村 島 佑 樹			
5 a	川 尻 功 陽			8位				
4 c	鈴 木 聖 菜			8位				
						5位		
				7位				

目指しています。昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ三部リーグにて結果を残すことができず、部員達もまずは「二部リーグ昇格」を目標にしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、練習に励んでいます。今後、男女共に好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと感じています。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いっそうの努力を忘れず、部員、指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。

■高校なぎなた部

昨年開催された三重インターハイに向けて五年前から準備をすすめてきました。シード権ももつて、是非団体優勝！と頑張ってきましたが、シードから洩れていた選抜大会王者の沖縄首里高校との決勝トーナメント一回戦で対戦する不運もあり、入賞を逃してしまいました。

今年度は女子十名の在籍と、他のクラブに比べると少数ですが、悲願の全国優勝に向けて日々活動しています。稽古場も今年から第三体育館となり、心機一転、広々とした空間でのびのびと稽古に励んでいます。

先日行われた県総体では、個人二名・演技一組がインターハイ出場枠を確保しました。試合当日、団体戦直前にキャプテンを突如欠くという

アクシデントもあり、久しぶりに団体戦の出場権を逃しました。しかし、残りのメンバーが必死に戦い、代表になった稲生高校を代表者戦まで追い込む健闘。負けはしましたが、チームとしての底力が発揮できたと思います。残念ながら、団体戦での昨年のリベンジは果たせませんが、個人・演技で「高田ここにあり！」をアピールしたいと思っています。

東海総体には団体、個人女子四名、演技一組が出場しますが、このチームの総決算として必ず総合優勝旗を掲げたいと思います。インターハイでは多くの卒業生に協賛及び役員ボランティアでお世話になりました。ここより御礼申し上げます。

（主な戦績）
 ・平成三十年度東海高等学校総合体育大会（平成三十年六月愛知県武道館）
 団体の部 3位
 女子個人の部 2位
 3位 長田 梨奈

・平成三十年度全国高等学校総合体育大会（平成三十年八月津市久居体育館）
 団体の部 ベスト16
 和田 友香・長田 梨奈
 直田 李穂・中尾 桜子
 垣本 江璃・高林 由珠
 脇田 悦

・平成三十年度国民体育大会なぎなた競技
 少年試合の部 8位 長田 梨奈

・平成三十年度全国高等学校選抜なぎなた大会（平成三十年三月伊丹市スポーツセンター）
 女子個人の部出場
 長田 梨奈・高林 由珠

・二〇一九年度三重県高等学校総合体育大会（令和元年六月稲生高校）
 女子個人の部
 1位 直田 李穂
 2位 長田 梨奈
 4位 渥美 麻友
 5位 高林 由珠

演技の部 2位
 長田 梨奈・直田 李穂 組
 団体の部 2位
 長田 梨奈・直田 李穂
 中尾 桜子・高林 由珠
 渥美 麻友・鈴木 花奈
 正成桃実

以上、東海高等学校総合体育大会出場。
 直田李穂・長田梨奈は全国総体出場権も獲得。

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。今年度、第三体育館の建設にともない、新体操の演技フロアが常設されることになりました。また、天井も高く、個人競技の投げ技の練習も思う存分行える環境となりました。公式大会も開くことのできる立派な施設です。これまでは、第一体育館のステージ上で練習していたため、練習が一部制限を受ける状態でした。今後は、試合会場と同じ感覚で日常から練習できるため、これまで以上に生徒たちの活躍が期待できます。一方、結果を出していかなければならないというプレッシャーも感じています。

本年度は鹿児島県で八月に全国高校総体（インターハイ）があります。個人競技はもちろんですが、団体競技での出場を目指して日々頑張っています。

最後になりますが、新体操部OBの皆様の心暖かな応援ありがとうございます。今度も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただきます。思いが、その際はよろしくお願ひします。また、お時間がありましたら、新しい施設や大会を見に来ていただきたいと思います。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は、男子二十五名、女子二十五名の計五十名で活動しています。

今年度より、新設された第三体育館を使わせていただき、週二日は高田短期大学の体育館も借りしている。この、これまでより充実した環境で練習させていただいております。練習内容はバドミントンの基本となるフットワークや身体トレーニング、技術向上のための練習、そして応用のバタトン練習からゲーム練習まで幅広く行っています。そして、大会のときに力を発揮できるように強い精神力を身に付けるため、それぞれが自分自身を追い込み、日々の練習に取り組んでいます。また、土日や祝日にはOBの先輩やコーチの方に来ていただいて、ノックやゲーム練習を中心に指導をしていただいています。

バドミントンは個人競技ですが、個人戦においても団体戦においても「全員で戦い、全員で勝つ」という気持ちで大会に臨んでいます。そのため日頃から声を出し合い、互いに励まし合い、全員が良きライバルとして存在することによって切磋琢磨し、一人ひとりのレベルアップと共にクラブ全体のレベルアップへと繋がるよう努力しています。

昨年度の主な大会結果としては、女子が個人戦のダブルスと団体戦で第三位に入賞しました。今年度は、つい先日おこなわれた県総体の団体戦において、女子が第三位に入賞し、六年ぶりとなる東海総体に出場することが決まりました。

今後男女共に個人戦での入賞、団体戦は三位以内、そして東海大会、全国大会出場を目標にして頑張っていきます。

■高校ソフトボール部

ソフトボール部は現在、高校三年生三名、二年生八名、一年生九名の計二十名で活動しています。学年の壁を越え全員で指摘しあい、活気の溢れた雰囲気練習に励んでいます。昨年の六月から新チーム体制が始動しましたが、春季大会や新人戦では実力不足がはつきりと見え、連携の弱さなどが目立ちました。しかし、秋から春にかけて練習を立て直すことができ、四月末に行われた春季大会では五位入賞という結果を取ることができました。部の中には、高校から始めた初心者が部員の半分以上です。限られた時間の中で、初心者を見て教えることはとても大変ですが、そうすることで自分たちも成長できていると思います。三年生はこの五月末から始まる県総体をもって引退しますが、新チームでも活気ある元気なソフトボール部でありたいと思うと同時に、沢山の方から応援して頂けるよう頑張っていきたいです。今こうしてグラウンドを使えること、ソフトボール部として活動ができることを「当たり前」と思わず、一日一日を大切に、これからも

日々精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

前キャプテン 池田 陽南

■高校放送部

放送部は、平成三十年年度第六十五回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会ラジオドキュメント部門で『入鹿く戦争捕虜収容所の記憶』、テレビドキュメント部門で『NFTく新しい未来を目指して』が共に最優秀賞を受賞、創作ラジオドラマ部門で『クイズ！愛の心をキャッチせよ』、創作テレビドラマ部門で『ボク、未練なんてないよ』がそれぞれ奨励賞を受賞し、アナウンス部門で五年生の永納綾香さんが優秀賞、四年生の河合麻衣さんが奨励賞をそれぞれ受賞し、朗読部門で三年生の長岡美雅さんが優秀賞を受賞しました。そして、第六十五回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会へ出場し、ラジオドキュメント部門でテレビドキュメント部門で共に準決勝に進出し、優良賞(第四位)を受賞し、朗読部門で長岡美雅さんが入選し、朗読部門で果たしました。さらに、(第四位)を果たしました。さらに、第三十八回近畿高等学校総合文化祭徳島大会へ出場し、アナウンス小部門で永納綾香さんが最優秀賞に輝きました。

平成二十九年年度発足の、中学校放送同好会が部に昇格し、平成三十年年度第三十五回NHK杯全国中学校放送コンテスト三重県大会アナウンス部門で二年生の越山礼菜さんが最優秀賞を受賞、二年生の生杉綾香さん、三年生の市川侑奈さん、松本玲香さんが共に優秀賞、一年生の田崎有彩さんが優良賞を受賞し、朗読部門で二年生の堀池恵真さんが優秀賞を受賞しました。そして、第三十五回NHK杯全国中学校放送コンテスト全

国大会に出場し、アナウンス部門で生杉綾香さんが予選を勝ち抜き、決勝に進出し、入選(第四位)を果たしました。また、平成三十年年度全国高等学校総合体育大会総合開会式で河合麻衣さんが式典アナウンサーを務めるなど、例年を上回る活躍と成果を上げました。これも、取材や撮影に協力していただいた方々や、ご支援をいただいた同窓会の皆さまのおかげだと考えています。ありがとうございました。今年度もさらに活動と活躍の場を拡げていきたいと思っております。

■高校バトン部

私達バトン部は、三年生十人、二年生十七人、一年生十四人計四十一人で活動しています。毎週月曜日から金曜日の放課後に体育館のスタジオで練習しています。体の練習はもちろんですが、曲の編集や振り付け衣裳など一から自分達で意見を出し合ったり作品を作っています。主に体育祭や文化祭などの学校行事は演技披露をしています。体育祭では開会式のパレードをしたり、文化祭ではバトンだけではなく、ポンポンを持ってチアダンスをしたり、フラッグやリングを使用した演技もします。観客席からのたくさんの声援や拍手をもらった時の気持ちは表せられないほどうれしいです。学校行事以外にもバトンウォーリングの団体戦や個人戦の大会にも出場します。団体戦は広い体育館で部員全員で一つの作品を演技します。そのため、歩きながらの演技など難易度の高い技もするので練習時間を長くしたり、皆で確認したり、やる気であふれています。去年は県大会で金賞、東海大会では銀賞を獲得することができました。個人戦では皆で教え合いなが

らそれぞれが金賞を目指して頑張っています。また、夏に行われる高校野球の際は応援席で応援を野球部さん、吹奏楽部さん、応援団の方達と一緒にしています。最近では、津市のタウン誌「つうぴーす」に二回載せていただいたおかげで複数のデイサービスからオファーをいただき、演技披露をしたり、利用者の方達と一緒に踊ったりバトンの体験してもらおうといった活動をしています。バトン部で活動してきて、人を応援することの楽しさや、頑張ってきたことを皆の前で発表できるうれしさや、演技を発表し終わった時の達成感などたくさんを経験することができました。野球応援で三年生は引退です。今年も野球部さんがたくさん勝ち進めるように全力で応援し、去年よりもっと盛り上げられるように頑張ります。三年生皆が悔いなく笑顔で引退できるように毎日の部活動を充実したものにしたいです。

■高校応援団

押忍！みなさんこんにちは、応援団です。本年度は六年生の女子三名で頑張っております。思い返せば数年前に女子一名から始まり、最高八名まで人数が増えましたが、そのあとはなかなか安定した入団者の獲得には至りませんでした。

しかし現在の三名は、六年生でありますが、今年の甲子園に向けた野球部の応援も最後まで精いっぱい応援したいと意気込んでおります。来年度以降の応援団存続も危うい状況ではありますが、なにとぞ温かく見守っていただきご指導いただければと思います。今後とも応援団をよろしくお願ひいたします。

多々ある活動の中で印象深いことは、今年の三月に春合宿の一貫として、京都で行われた「第七回グローバルコミュニケーション京都」に参加したことです。一日目は同志社大学准教授竹田先生からの講演を聞き、二日目は留学生と共に外国人観光客にインタビューを実施し、その資料を元に京都観光の改善に関するプレゼンテーションを作りました。最終日には京都大学で英語のプレゼンテーションを行いました。短期間で自分自身の英語力を駆使して実際に資料を集め、それをまとめて発表することは、英語力のみならず周りの日本人とのコミュニケーション力も鍛えられ、大変実りのある研修となりました。ここで私たちは京都府観光局賞を受賞することができました。また十月には「三重県高校生スキットコンテスト」に出場します。自分たちで台本を作り、英語に翻訳し、練習します。昨年は良い結果を出すことができず悔しい思いをしたので、今年に入賞できるよう頑張ります。

これからも様々な活動に参加し、英語力を向上させるべく精進していきたいと思ひます。

■高校英語部

こんにちは、高校英語部です。私たちは現在、三十九人部員で活動しています。主な活動内容としては、八月の夏合宿、十月の英語劇、三月の春合宿です。その他、個人や少数グループでプレゼンテーションコンテストに挑戦したり、英語での歌唱コンテストに参加しています。このように幅広い分野で英語と接し、日常の中で楽しみながら英語力を磨いています。

多々ある活動の中で印象深いことは、今年の三月に春合宿の一貫として、京都で行われた「第七回グローバルコミュニケーション京都」に参加したことです。一日目は同志社大学准教授竹田先生からの講演を聞き、二日目は留学生と共に外国人観光客にインタビューを実施し、その資料を元に京都観光の改善に関するプレゼンテーションを作りました。最終日には京都大学で英語のプレゼンテーションを行いました。短期間で自分自身の英語力を駆使して実際に資料を集め、それをまとめて発表することは、英語力のみならず周りの日本人とのコミュニケーション力も鍛えられ、大変実りのある研修となりました。ここで私たちは京都府観光局賞を受賞することができました。また十月には「三重県高校生スキットコンテスト」に出場します。自分たちで台本を作り、英語に翻訳し、練習します。昨年は良い結果を出すことができず悔しい思いをしたので、今年に入賞できるよう頑張ります。

■高校演劇部

演劇部の最近の活動についてご報告申し上げます。昨年度は、数多くの公演を行うことを目指して活動しました。四月の新入生歓迎公演を皮切りに、新入生のお披露目公演でもある五月のアトリエ公演、七月の夏大会、九月の文化祭、十一月のみえ高文化祭公演、十二月の冬公演、三月の春大会で上演を行いました。特に十一月のみえ高文化祭公演では普段あまり挑戦しないコメディを、十二月の冬公演では芸術鑑賞でお世話になった劇団口口のいつ高シリーズ「いちごオレ飲みながらアイツのうわさ話した」を上演するなど、新たな挑戦にも着手しました。また、大阪府で行われた近畿高等学校総合文化祭を観劇に行くとともに、三重県総合文化センターで行われるお芝居にも、例年にないほど観劇に行き、基礎力の向上に努めました。多数のお客様にご来場いただきまして、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

現在、七月二十七日(土)二十九日(月)に行われる、夏の地区大会に向けて、稽古を続けていきます。八月九日(金)、十日(土)は県大会です。夏の演劇シーズンです。地区大会は津市白山総合文化センターしらさぎホール、県大会は三重県総合文化センター 中ホールで行われます。是非部員たちの熱い姿を観に、劇場に足を運んで頂けるとありがたいです。

■高校家庭部

家庭部調理班は三年生十六名、二年生十六名、一年生十六名、計四十八名で活動しています。昨年度も同様に、文化祭や寺内町

祭りなどのイベントに向けて春からシフォンケーキとパウンドケーキを一生懸命考え、作っていました。ゴマとおおきを使った和風な味や、ブルーベリーやコンデンスミルクなどを使った味など様々な味を班で試行錯誤を繰り返して作りました。

夏の学校見学会では、中学生や保護者の方々に試食をしていただき、温かいお言葉をいただきました。

たくさんの練習と改良の結果、秋の文化祭では朝から長蛇の列ができ、たくさんの生徒のみなさんと先生方に食べていただきました。シフォンケーキ、パウンドケーキの他にも、チーズケーキや韓国風ホットサンドを調理し、たくさん、美味い！という声をいただいてとてもうれしかったです。

十一月の寺内町祭りでは、地域の方々に家庭部のことを知ってもらえる機会となり、小さなお子様からお年寄りまで幅広い年代層の方々に召し上がっていただきました。

現在、三年生は引退に向けて、お菓子作りの研究と先生や二年生へ感謝の気持ちを込めてスイーツバイキングを計画しています。

楽しく料理を作る事が終わりではなく、周りの方々に食べてもらうことで、様々な意見がもらえて、会話が生まれ、人との距離が縮まるということを私は二年半の部活動で気づかせてもらいました。はじめは、部長という仕事も責任感と不安でいっぱいでした。しかし、先生をはじめ副部長や部員のみんが、サポートしてくれただけで成長した自分を感ずる事ができ、とても感謝しています。

部長 Ⅲ年一組 江藤 優花

■高校仏青インターアクト部

「仏青インターアクト部の活動について」

Ⅱ年 F組 庄司 衣吹

私たち仏青インターアクト部は三年生が十一人、二年生が二十一人、一年生が十九人、計五十一人で楽しく活動をしています。地域の方々や他国の方々への募金活動、仏教行事の準備や片付け、災害支援募金、障がい者支援、老人ホームの慰問と清掃、津市教育委員会主催歴史まるごと体験塾のお手伝い、高田中学生たちの比叡山林間学校引率補助、一身田寺内町の清掃活動、花の植え替えなど様々な活動をしています。

昨年度は津北ロータリークラブの皆様と高田高校仏青インターアクト部が主催する「インターアクト年次大会」がありました。いろいろな方の支援や協力のお陰で無事に終えることができました。この大会は私たち部員全員が良い経験になったと思っています。

今年度は今まで以上に活動を増やしていきたいと思っています。今年度はたくさんの一年生が入部してくれました。一年生は積極性があり、何事にも率先して行事を手伝ってくれているので、インターアクトの活動のみではなく青少年赤十字の活動なども取り組んでいきたいと考えています。私たちの活動は感謝されることが多くあり、その時の相手の方は、とても素敵な笑顔をしてくださいました。私たちはその笑顔を糧にして日々たくさんの活動に励みたいと考えています。少しでも多くの方の笑顔が見られるように、これからも新たなボランティア活動をしていきたいと思っています。

国際交流委員会

第二十六回

オーストラリア交換留学

若林 広繁

三月十五日から三月二十九日までの十五日間、二十六回目となるオーストラリア交換留学プログラムに本校教員四名と生徒三十三名が参加しました。古木先生とアイゼンハート先生は生徒二十二名とセントモニカ校、倉田先生と奥田先生は生徒十一名とパレード校での研修となりました。十五日早朝になぎさまちを出発し、セントレア空港からシンガポールのチャンギ空港で乗り換えて、十六日の朝にメルボルンに到着しました。メルボルン空港には両校の先生方にお出迎えをしていただき、空港から両校へはバスで移動をしました。各校でホストファミリーとの対面後、教員もそれぞれホストの先生と休日を通り、非常に貴重な文化交流ができました。

今回のプログラム内容は、セントモニカ校、パレード校は共通してサーフィン実習やヒールズサンクチュアリー、ソプリンヒルでの金の精錬実演見学等、お馴染みの研修に生徒達も有意義な研修となりました。パレード校の初日には、まず入校式を行いました。大勢の生徒たちの前でスピーチを行った本校代表生徒は、緊張しながらも堂々と英語での挨拶にオーストラリアの先生方も感激されました。入校式後、本校生徒たちはパレード校の生徒たちと一緒に、時よりオーストラリア生徒が日

本語で校内を案内し、交流は仲良く行われました。その後は、美術の授業でマグカップを作成するなど、現地の学校の授業を楽しみました。午後はパレード校の日本語授業に参加し、本校生徒たちも英語を用いて、日本文化を説明しました。セントモニカ校でも初日には入校式が行われました。生徒代表の英語によるスピーチをはじめ、モーニングテイによる生徒達も交えたウェルカムパーティーが行われ、九月にホームステイで交流した生徒同士も多く参加してもらっていたこともあり、非常に和やかで楽しく過ごすことができました。

サーフィン実習では両校参加した生徒全員が約一時間のサーフィン実習にチャレンジし、初めての波乗りにも成功しました。人生初のサーフィンに挑戦した生徒達も多く、オーストラリアの自然の中で、マリンスポーツを楽しみました。

また、パレード校はシティランブルというメルボルン市内での班別研修を行いました。メルボルン市内の町をグループごとに散策し、初めて見る光景に生徒達も興奮していたようです。また、セントモニカ校ではダンス実習にオーストラリア生とともに参加し、身体を動かしながらアクティブに交流し、有意義な時間を過ごしました。

お別れ会では、日本の伝統文化の書道を披露するなど、笑いあり涙ありの会になりました。いよいよ、ホストファミリーとのお別れの日となり、寂しさ溢れる生徒たちの中には涙を流し、別れを惜しむ姿を見て、引率の先生方は長く続いてきたこのプログラムに参加した生徒達にとっ

て有意義な交流となっていたことを実感したようです。

このプログラムは今回で二十六回目を終え、本当に長く交流が続いている理由には、高田学苑とオーストラリア両校との強い信頼関係と絆を感じます。国を越えた人と人とのつながりは言葉だけでなく、おもてなしや思いやりの心が大きく影響しており、毎年このプログラムに関わる人たちが増え続けていくことが将来多くの人たちがグローバルに活躍していくことに繋がると期待しています。今回のプログラムに多大な尽力を賜った皆様をはじめ、このプログラムを立ち上げ、ここまで素晴らしい交流プログラムに築き上げてきていただいたすべての方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。



H30年度の進路状況について

キャリア支援センター

平成30年度卒業生の3月末現在の進路状況について報告します。

全体の状況について、卒業者240名(昨年度237名)に対して、就職希望者231名(232名)、就職決定者230名(同231名)、未内定者1名(同1名)、進学者3名(同2名)、家事等従事者が6名(同3名)となり、就職率は昨年度と同じ99.6%という結果でした。内、県外への就職は14名(同7名)と増加したため、県内就職率は94%(同97%)となりました。

学科別では、子ども学科卒業生158名(昨年度146名)のうち、幼稚園16名(同15名)、保育園81名(同77名)、こども園35名(同26名)、児童養護施設等7名(同18名)、社会福祉施設等2名(同1名)、一般企業11名(同8名)でした。進学は2名(同1名)、家事等4名(同なし)で就職率は例年通り100%となり、専門職としての就職者も全体の93%(同94%)と高率です。また、市町公務員試験には21名が保育士・幼稚園教諭職に、1名が行政職に合格し、6名(同11名)が嘱託又は臨時職員として就職しました。今年度も公務員試験に多数の合格者が出たこと(合格率60%、昨年度54%)及び児童養護施設への就職が減り、こども園就職者が増えたこと等が特徴として挙げられます。

キャリア育成学科オフィスワークコースでの卒業者数は60名(同75名)で、主な業種として卸・小売業17名(同23名)、サービス業11名(同5名)、金融・保険8名(同11名)、製造7名(同7名)、建設5名(同4名)、医療・福祉4名(同9名)、運輸・情報通信4名(同6名)等、計58名(同71名)が一般企業に就職しました。また、1名は四日市市行政職試験に合格し公務員として活躍しています。家事等は1名(同3名)、進学はなし(同1名)、未内定は1名(同なし)でした。総じて、例年通りの順調な結果と言えます。

同学科介護福祉コースでは、卒業生22名(同16名)のうち、老人介護施設に20名(同13名)が就職し、一般企業はなし(同2名)、進学は1名(同なし)、家事等は1名(同なし)、未内定はなし(同1名)でした。卒

業生の内、外国人留学生が11名と過半数を占めたことが今年の特徴です。最後に、求人状況について、本年度、保育所・幼稚園・児童養護施設から1,298人(同1,215人)、一般企業から779人(同1,216人)、老人・障害者施設からは431人(同724人)の求人があり、依然として保育関連の求人数の増加傾向が続いています。企業及び社会福祉施設については、県外からの求人数の集計を修正したことから減少していますが、依然、売り手市場の状況は変わっていません。

樹心同窓会の皆さまには、いつも学生の就職活動にご気遣いいただき感謝の気持ちで一杯です。さらには、社会人となる後輩たちに対しても温かい励まし、ご助言等をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

短大部会だより

北端 一子

誕生日がくると九十歳になる母が、パーマが伸びてきたと独り言、自分の都合のいい日にパーマしてもらいに行きました。鏡を見てにっこり。そして、すぐに染めてもらおうと髪が傷むので、来月に白髪を染めてもらおうと予定を立てています。同じ店に行くのではなく、あの店は、高いで駅前の店に行くと言っていてもらいました。一緒にカットしてもらえれば、いいのと思っていたら、カットは、別の店と自分の好みの店に行きます。そして、「さっぱりした」と言っただけ、鏡を見ています。出かける時には、クリームを塗ってファンデーションをつけます。

普段は、何もしないので、化粧なしですが、いつまでもきれいにしたい、おしゃれをしたいと思う気持ちは、持ち続けています。女性だからでしょうか？今は、男の人も持つていようか？今後は、私だけでしょうか？

私が、肌の手入れをしてもらいに行く気持ちと同じですね。母のように、いつまでも、きれいにしたいという気持ちは、持ち続けたいとおもいます。おしゃれをしたいという気持ちは、なかなか難しいですね。

短大部会ですが、第一回の役員会を四月十八日に短大の会議室で午後七時からしました。仕事を終えた方や、家庭の事をしてから出席する方などさまざまです。時間きっちりとはじめられませんが、昨年度の報告とこれからの予定について話し合いました。毎年、高短祭に参加して決められた場所でバザーをします。毎年同じ場所なので、楽しみにして見える方もいて、今年は何があるのかなと言いつつ眺めて気に入った物があると買っていただきます。嬉しい限りです。バザーを待っている方がいる限り、続けていこうと思います。春に卒業した理事の方の手伝いが三年前からあって、値付けや置く配置を考えて、店開きまでが、にぎやかです。品物は、当日でないとい何が集まるか分かりません。洗剤が多かったり、陶器類が多かったり、ガラスの製品が多かったりと年度によって違うので、臨機応変に対応しています。今年はどうなるか楽しみです。

みなさんも高短祭を見に来ませんか？生徒の店もあって楽しいですよ。そして何かお気に入りがありましたら買ってください。待っています。

会員だより

中学時代のこと、二八会のこと

米川 あさ子

男子校として歴史のある高田中学が昭和二十五年四月から、男女共学になり女子第一期生として入学しました。翌年には高校も共学になりましたが、入学当初は、中学、高校、専門の男子学生の中に十二名の女子がチョロチョロしておりました。

元の寄宿舎が教室で部屋のまんに柱があり、教室には窓ガラスが入っていました。廊下や、雨天体操場は窓枠さえない状態でした。床はすき間が多く土足だったので掃除の時水を撒くと、下の三年生から水が落ちてくると、よく叱られました。

A組は男女の組、小柄でヒゲをかれ背筋のピンとした国語の山田武司先生、B組はいつも和服姿の凛とした英語の原次子先生三年間持ち上がりでした。

先生方も、とまどわれることが多かったと思いますがA組は三年間、男女一緒にの体育でした。動かせばこれくらいなオルガン一台の音楽コーゲン、ギーギーで始まる佛教、先生が黒板に書かれたのをひたすら写すだけの家庭科、先生方は高令でゆったりした授業でした。お茶、お花は本山の由緒ある部屋で、古い道具を使って指導を受けました。

又放課後、畠山先生には中庭や、時には本山の境内で写真をとっていただきました。

昭和二十八年、卒業以来、不定期ではありますが同期会を続け友好を深めています。

平成三十年には十六回を数えま

した。近隣の方はもちろん、西から東から遠くは九州から出席して下さいます。介護中の方、家族同伴の方、病気を克服し久しぶりに元気な顔を出して下さる方、毎回感動があります。

今だから話せる話、(秘)話、林間学校のこと、夜行列車での関東への修学旅行。日本橋三越で初めて乗ったエスカレーターひっくり返った人がいて、エスカレーター嬢が止めてくれたこと。夜の銀座、赤ちゃんが飲むミルクが減っていくネオンに驚いたこと、帽子が飛ばされた話、小遣



いを失くした話、各々のテーブルで笑い声があがります。毎回時間延長しても話はずきずき、いつも心を残しての散会になります。

越し方八十余年、たかが三年間で共有した中学時代、いい先生方に教えられ、いい友達とめぐりあい、有意義で貴重な月日であったとつくづく感謝でいっぱいです。

「高令だからこそ、これからは毎年開催を」とのことで今年も秋には十七回を開催します。

私達二八会は、老いても元気、まだしばらく二八会は続きます。

幹事 谷 洋 明

吉 田 耕 太 郎

米 川 あ さ 子

(昭和二十八年中三卒)

去る五月二十六日午後一時半〜五時、東京日本橋の三重県のアテナシヨップ「三重テラス」二階で高田中学第十二回生(一九五九年卒)の同窓会(同期会)を開催しましたのでご報告いたします。

当然ながら後期高齢者になったものばかりで、それぞれの持病を持ちながらも、三重県から二名、名古屋から一名、関東地区から五名が参加しました。年々少なくなる卒業生、既に鬼籍に入られた方が二十四名もおり、生き残った者の責任として各自社会に貢献する取り組みをされておりました。

話題は主に持病や介護が中心で、



後列左から岩本勝氏、辻保彦氏、松田武英氏、宇田(下津)昌子氏、渡辺(宮原)多美子氏
前列左から加藤(宮崎)朗子氏、中尾英佐子氏、浜口米治氏

癌で腎臓一個なくした後も元気に活躍されている話やご主人の脳梗塞介護の話など身に迫るお話を聞かせて頂きました。また過去の思い出として運動会の前の準備で高田本山に行き「はぜの実」を投げ合い十数名が顔中かぶれ運動会に参加できなかったことや、我々が小学校六年の時、橋北中学の女生徒三十六人が海難事故で亡くなり大騒ぎしたことが話題となりました。

また辻製油の会長の辻保彦氏は、故郷三重県の活性化について、ご講演をされ一同三重県の農業の更なる発展と活性化に繋がることを確信させられた一日でした。さらに最近同期生が取り組んでいる研究の話題としてコレステロールが高いことが原因で動脈硬化になり心筋梗塞になるということ、もう神話の時代になって来たことが紹介されました。

事務局 松田 武英

令和元年度

高田学苑樹心同窓会総会

令和元年8月4日(日) 午後3時~6時

総会 ホテルグリーンパーク津(津駅前アスト津内) 6階 中宴会場

懇親会 ホテルグリーンパーク津(津駅前アスト津内) 6階 大宴会場(伊勢の間・安濃の間)

○総会・追弔会 ○懇親会 ○林家 菊丸 落語会 & ミニトーク

※会費として、3,000円当日受付いただけます。 ※お車でお越しの方はアスト駐車場をご利用下さい。 ※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮下さい。



(昨年度の様子)

計 報

※経年のご連絡分も含みます

- 黒北岡落伊米寺前鈴小岡飯稲内河仲川篠小桜赤上森一中長竹奥別嶋中高南竹伊田角 合野沢田田木嶋本本山内野口原林井塚村 見尾井島田所山山出尾東久美子 陸 盾弘靖 和月旭登智隆 俊 壽 吉重 昭治 迪 照 嘉邦 (S 34中3卒) (S 34中3卒) (S 34中3卒) (S 34中3卒) (S 33中3卒) (S 32中3卒) (S 31中3卒) (S 30中3卒) (S 29中3卒) (S 28中3卒) (S 26中3卒) (S 25中3卒) (S 24中3卒) (S 23中3卒) (S 23中3卒) (S 23中3卒) (S 21中3卒) (S 21中3卒) (S 20中3卒) (S 20中3卒) (S 20中3卒) (S 19中3卒) (S 17中3卒) (S 17中3卒) (S 16中3卒) (S 13専門卒)
- 廣能太今西高前小本藤浅浅堀荒中田谷稲福下笠鎌石土中若米米三福谷田駒後 仁田村川野田川城本井生井木西村口垣島津井田垣井村林沢倉井山中中田藤 綾秀 隆国久 良尉健弘純文節信法幸幸栄 嘉貴 ちさ子 明勝和 一 正克義 (H 1短大卒) (S 54高校卒) (S 52高校卒) (S 47高校卒) (S 44高校卒) (S 43高校卒) (S 42高校卒) (S 41高校卒) (S 40高校卒) (S 36高校卒) (S 31高校卒) (S 29高校卒) (S 28高校卒) (S 26高校卒) (S 25高校卒) (S 24高校卒) (S 23高校卒) (S 23高校卒) (S 21高校卒) (S 21高校卒) (S 20高校卒) (S 20高校卒) (S 19高校卒) (S 17高校卒) (S 17高校卒) (S 16高校卒) (S 13専門卒)
- 子典洋一彦夫章一史二志造夫子昭男夫男式健昭裕優子 見広郎誠正郎満明彦勝

ご受章おめでとうございます

黒川喜信様 (高校S48年卒) 瑞宝双光章ご受章

- 橋千(短) 川杉岩野堀家寺因松(中・高) 本草 井田出末 木本 田 景篤 満律東準正 かよ信和 子磨 吉子紅二一稔 子也世

平成30年度 退職教職員

*ホームページアドレス http://www.mie-takada-hj.ed.jp *メールアドレス office-jushin@mie-takada-hj.ed.jp *協力金振込口座(1口1,000円) ゆうちょ銀行 口座番号、記号 00870-1-125341 高田学苑樹心同窓会